

令和2年度

桐生市水道事業年報

令和2年4月1日～令和3年3月31日

桐生市水道局

目 次

I. 事業概要	
1. 沿 革	1
2. 基本計画の推移	2
3. 令和2年度の概況	3
II. 組織	
1. 機 構 図	5
2. 水道局事務分掌	6
3. 職員配置表	8
III. 施設概要	
1. 浄水施設	9
2. 配水施設	16
3. 加圧施設	17
4. 水質センター	18
5. 桐生市水道山記念館	18
IV. 業務概要	
1. 業務実績状況（業務統計月報より）	19
2. 口径別・管種別配水管延長	20
3. 月別配水量及び有収水量	20
4. 配水量分析表	21
5. 口径別・月別有収水量と料金	22
6. 口径別件数・水量及び料金	24
7. 水道料金取扱状況	24
8. 水道料金の収納状況	24
9. 水道料金の改定（口径別に移行後）	25
10. 電力使用状況及び料金	26
11. 薬品使用状況	27
12. 量水器設置数及び取替状況	27
13. 給水申込・使用中止及び変更等の件数	28
14. 給水装置工事及び修繕工事	28
15. 口径別加入件数及び加入金	29
16. 漏水調査実績（委託）	29
17. 桐生市水道局指定給水装置工事事業者名簿	30

V. 財務の概況	
1. 収益的収入及び支出	36
2. 資本的収入及び支出	36
3. 比較損益計算書	37
4. 比較貸借対照表	38
5. 令和2年度企業債借入先別償還状況	41
VI. 経営分析	
○ 経営・財務分析表	42
VII. 災害時の態勢	
1. 桐生市水道施設防災計画に基づく給水拠点	45
2. 災害時の相互応援協定等	47
(1) 両毛地域水道事業管理者協議会水道災害相互応援に関する協定書	47
(2) 災害時における給水装置等の早期復旧協力に関する協定（桐生管工事協同組合）	49
(3) 群馬県水道災害相互応援協定	50
(4) 災害時における応援業務に関する協定書（株式会社両毛ビジネスサポート）	52
(5) 公益社団法人日本水道協会関東地方支部災害時相互応援に関する協定	53
(6) 社団法人日本水道協会群馬県支部災害相互応援要綱	56
(7) 上水道相互連絡管による相互応援配水に関する協定（伊勢崎市）	59
(8) 上水道相互連絡管設置に関する協定（前橋市）	61
VIII. その他資料	
1. 桐生市水道料金審議会条例	64
2. 両毛地域水道事業管理者協議会開催要領	64
桐生市給水区域図	

I. 事業概要

1. 沿革

桐生市の水道事業は、昭和5年2月に水道事業創設認可を受け、昭和7年4月に全市の給水を開始しました。当時の計画給水人口は60,000人、計画一日最大給水量は10,200m³でした。

昭和19年4月には、計画給水人口75,000人、計画一日最大給水量は15,000m³とした「第1次拡張事業」の認可を受け、本市の水道施設は次々と充実・拡張していきました。

その後、元宿浄水場の取水量低下を補う工事として行われた「第2次拡張事業」、広沢水源地を建設した「第3次拡張事業」、相生地区への給水と市内給水量の増補を目的とした「第4次拡張事業」、上菱浄水場を建設した「第5次拡張事業」、市内施設の統廃合を行い、本市の水道施設の全体的な見直しを行った「第6次拡張事業」と、昭和25年から昭和49年にかけて、様々な拡張事業を実施してきました。

そして、高度経済成長による更なる水需要の増大に対応するため、昭和49年3月に計画給水人口157,100人、計画一日最大給水量は120,200m³とした「第7次拡張事業」の認可を受けました。この拡張事業は、前期では元宿浄水場を増設し、後期では桐生川ダムの完成に伴う梅田浄水場の新設を計画しました。

梅田浄水場は、人口減少に伴い拡張事業から用途を変え、老朽化した上菱浄水場の代替施設として令和3年3月に第1期工事が完成しました。

令和3年4月から梅田浄水場が供用開始となり、老朽化した上菱浄水場は廃止となりました。

今後の本市の水道事業は、市のほとんどに施設が行き渡ったため、拡張から施設のより一層の充実を目指した管理化へと向かい、より正確な水道管網図の整備、異臭味対策、低水圧地区の解消、水道管の漏水防止、老朽管の布設替えなど、安全でおいしい水の安定供給を目指して事業を実施しております。

また、平成17年6月、勢多郡新里村及び同黒保根村を編入合併したことに伴い、旧新里村水道事業を統合しました。さらに、平成28年4月には、馬立簡易水道事業と黒保根簡易水道事業を統合しました。

2. 基本計画の推移

区分	事業内容	認可(届出) 年月日	起工 年月	竣工 年月	計画給 水人口	計画一日 最大給水量	計画一人 一日最大 給水量	総事業費
創設	元宿浄水場、水源地、 水道山配水地	昭 5. 2. 13	昭 5. 9	昭 7. 4	人 60,000	m ³ 10,200	ℓ 170	千円 1,387
第1次 拡張事業	天神町浄水場 (現在廃止)	19. 4. 1	19. 4	20. 10	75,000	15,000	200	1,509
第2次 拡張事業	元宿浄水場増設	25. 10. 17	25. 10	26. 12	76,500	15,300	200	6,120
第3次 拡張事業	広沢水源地(現在廃止)、 配水場	32. 2. 21	32. 7	37. 3	101,200	25,300	250	173,912
第4次 拡張事業	広沢水源地(現在廃止) 増設 元宿浄水場増設	38. 12. 23	39. 7	43. 3	120,000	34,800	290	283,455
第5次 拡張事業	上菱浄水場(現在廃止)、 配水場	41. 12. 28	42. 6	45. 7	120,000	45,600	380	562,895
第6次 拡張事業	元宿浄水場増設、青葉 台配水場、梅田加圧所	46. 4. 26	46. 4	48. 6	130,000	50,700	390	687,691
第7次 拡張事業	元宿浄水場増設等	49. 3. 30	49. 4	56. 3	157,100	120,200	765	7,621,840
	給水区域の拡張 (変更届出第1回)	平 16. 10. 27	-	-	157,100	120,200	765	4,800,000
	新里村上水道事業統合 (変更届出第2回)	17. 6. 10	-	-	175,300	130,210	743	13,856,260
	馬立簡易水道事業統合 黒保根簡易水道事業統合 (変更届出第3回)	28. 3. 23	-	-	178,173	131,886	740	13,512,006

※ 平成30年3月31日現在 行政区域面積：274.45km² / 計画給水区域面積：95.04km²

※ 計画一日最大給水量 = 配水能力

3. 令和2年度の概況

(1) 総括事項

本市水道事業は、昭和7年4月に通水を開始して以来、水道創設90周年という節目となる年を迎えました。しかしながら、創設時の水道施設や管路網は老朽化が著しく、それらの大規模な更新や改修が喫緊の課題となっております。このような状況の中で、老朽化した上菱浄水場の代替施設として建設を進めて参りました梅田浄水場（第1期工事）が、水道創設90周年に併せて、無事に完成いたしました。今後も水需要を踏まえた施設規模の適正化を念頭に置き、老朽施設等の更新に取り組んで参ります。

また、給水人口の減少や市民の生活様式の変化により、今後も水需要の減少は続くものと想定されます。このような社会情勢の中で、将来にわたり安定した事業経営を継続するため、「桐生市水道再生マスタープラン」に基づき、投資計画と財政計画との均衡を図りながら、今後取り組むべき課題に対応させた「桐生市水道事業経営戦略」に沿った事業運営に鋭意取り組んでおります。

令和2年度につきましては、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中で、各施設における徹底した感染防止対策のもと、「桐生市水道事業経営戦略」の重要施策であります水道施設の適切な維持管理・更新を実施いたしました。

まず、水道管路につきましては、更新の優先度や水需要の減少を踏まえた更新を実施するとともに、水圧の改善、漏水防止等の推進を図りました。

次に、浄水場及び各配水施設につきましては、日常の維持管理及び保守点検を適切に実施するとともに、設備の改修及び機器の取替等を実施いたしました。

また、「水道GLP」による水質検査体制により、水道水の水質に対する信頼性の確保を図るとともに、水質検査機器の更新を行いました。

今後もより安全安心な水の供給を図るべく、水質・水源保全対策を推進し、きめ細かい給水サービスができるよう努力してまいります。

イ. 建設改良事業について

主な建設改良の工事は、梅田浄水場建設をはじめ、元宿浄水場の凝集沈澱池設備更新工事、新里支所監視装置更新工事、黒保根地区田沢浄水場のろ過電動弁更新工事等を実施するとともに、各施設の水位計及び流量計更新工事を実施し、水道水の安定供給に努めました。

また、市内一円にわたり、配水管布設工事 4,383m を実施いたしました。

固定資産購入では水質検査機器「陰イオン分析用サプレッサ式イオンクロマトグラフ」等を更新し、水質検査体制の強化を図りました。

ロ. 業務の状況について

年度末における給水件数は 52,813 件となり、前年度と比較して 255 件(0.5%)減少し、給水人口は、107,310 人で 1,854 人(1.7%)減少しました。

また、普及率は全市人口 107,601 人に対し、99.7%で前年度と同様でした。

年間有収水量は、12,724,278 m³で、前年度と比較して 3,523 m³(0.03%)増加しました。

なお、有収率については、80.6%となりました。

ハ. 経理の状況について

本年度決算は、収益的収支において、収入 2,056,860,915 円（外仮受消費税及び地方消費税分 194,112,648 円）、支出 1,825,119,042 円（外仮払消費税及び地方消費税分 72,929,104 円）となりました。その結果、差引純利益は 231,741,873 円となりました。

収入においては、給水人口は減少となりましたが、新型コロナウイルス感染症対策の影響を受け、各家庭における使用水量が増加し、給水収益の減少が抑えられたため、前年度の決算と比較して 4,492,653 円（0.2%）の増加となりました。

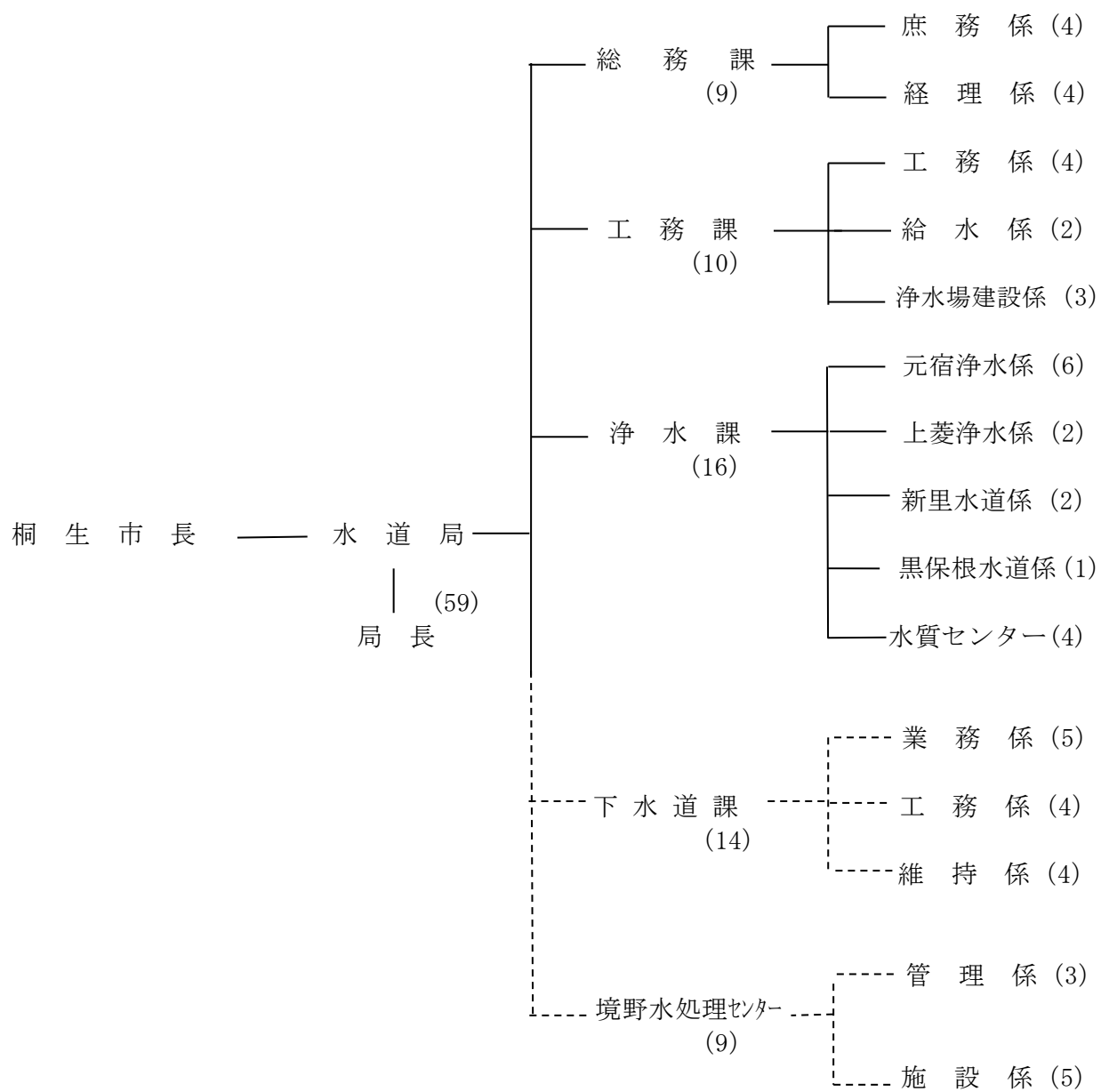
支出においては、退職給付引当金の充足費用である退職給付費の増加や、施設の老朽化に伴う修繕費の増加により、前年度の決算と比較して 49,320,372 円（2.8%）の増加となりました。

資本的収支においては、収入 654,073,046 円、支出 3,083,702,018 円で、差引収入不足額 2,429,628,972 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 119,160,013 円、当年度分損益勘定留保資金 599,362,598 円、建設改良積立金 1,711,106,361 円で補填しました。

なお、たな卸資産購入費の仮払消費税及び地方消費税額は 1,799,975 円、貸倒れに係る控除税額は 236,010 円となりました。

Ⅱ．組 織

1. 機 構 図



※ () 内数字は職員数

※下水道課及び境野水処理センターは下水道事業会計

2. 水道局事務分掌

総務課

1. 秘書に関する事。
2. 職員の人事、給与、服務、研修及び福利厚生に関する事。
3. 条例、規則及び規程に関する事。
4. 文書に関する事。
5. 広報広聴及び統計に関する事。
6. 資産の取得、管理及び処分に関する事。
7. 契約、物品の調達及び不用品の処分に関する事。
8. 公用車両に関する事。
9. 庁舎、職員公舎及び水道山記念館の管理に関する事。
10. 指定給水装置工事事業者の指定等に関する事。
11. 労働組合に関する事。
12. 安全衛生に関する事。
13. 災害対策の庶務に関する事。
14. 財務、検針及び水道料金に係る電算システム並びに水道局電子計算システムの総括に関する事。
15. 予算及び決算に関する事。
16. 企業債及び一時借入金に関する事。
17. 財政計画及び資金計画に関する事。
18. 現金及び有価証券の出納保管に関する事。
19. 水道料金その他収納金の収入整理に関する事。
20. 出納及び収納取扱金融機関に関する事。
21. 貯蔵品の出納保管に関する事。
22. 資産の評価に関する事。
23. 期中経理に関する事。
24. 水道使用の諸届の受付に関する事。
25. 使用水量の検針に関する事。
26. 使用水量の認定に関する事。
27. 使用者台帳及び検針台帳の整理保管に関する事。
28. 水道料金の調定に関する事。
29. 水道メーターに関する事。
30. 開閉栓、休止に関する事。
31. 共同住宅の戸別検針及び戸別徴収の契約に関する事。
32. 水道料金及びその他の収納金の納入通知書等の発行及び徴収に関する事。
33. 水道料金及びその他の収納金の過誤納金の還付に関する事。
34. 水道料金及びその他の収納金の滞納に係る督促並びに停水処分に関する事。
35. 分水、受水に関する事。
36. 収納事務等受託者の指導及び監督に関する事。
37. 他の主管に属さない事。
38. 局内の庶務に関する事。

工務課

1. 事業施設の将来計画に関する事。
2. 主要事業の許認可申請に関する事。
3. 取水の計画に関する事。
4. 事業施設の工事に関する事。
5. 浄水場建設に関する事。
6. 配水管等の布設に伴う給水切替工事に関する事。
7. 主管の工事に係る工事検査（別に定めるものを除く。）に関する事。
8. 給水装置工事の申請及び検査に関する事。
9. 事業施設及び給水装置の維持管理及び修繕に関する事。
10. 漏水防止に関する事。
11. 非常用浄水装置及び災害用施設の維持管理に関する事。
12. 主管の設計、積算及び図面管理等に係る電子計算システムの管理に関する事。
13. 給水装置施工票及び事業施設に係る設計図面の管理に関する事。
14. 加入金及び手数料の調定に関する事。
15. 給水装置修繕工事及び施設損傷弁償金の調定に関する事。
16. 防災行政無線の保守管理に関する事。
17. 渇水及び災害に関する事。
18. 業務委託に関する事。
19. 工事に伴う道路占用及び掘削等の申請に関する事。
20. 指定給水装置工事事業者の指導監督に関する事。
21. 貯水槽水道に関する事。
22. 専用水道に関する事。

浄水課

1. 浄水業務の総括に関する事。
2. 元宿浄水場、上菱浄水場、黒保根浄水場、田沢浄水場等の取水、浄水及び配水に関する事。
3. 元宿浄水場、上菱水源地、上菱浄水場及び配水場等の運転並びに維持管理に関する事。
4. 元宿浄水場、上菱浄水場、黒保根浄水場及び田沢浄水場の配水区域内の施設の維持管理、修繕並びに管末採水に関する事。
5. 排水処理に関する事。
6. 主管の工事に係る工事検査（別に定めるものを除く。）に関する事。
7. 取水量、送水量及び配水量等の統計に関する事。
8. 浄水施設の将来計画に関する事。
9. 新里地区及び黒保根地区における水道料金等の徴収に関する事。
10. 水質の調査及び監視に関する事。
11. 水質事故の初期対応に関する事。
12. 各浄水場原水及び浄水の定期精密水質検査に関する事。
13. 給水栓水毎日水質検査及び精密水質検査に関する事。
14. 水質管理に関わる各種調査、実験の実施及び解析に関する事。
15. 浄水処理に必要な水質検査や実験に関する事。
16. 水質データの管理、解析及び公表に関する事。
17. 各種実験・検査機器の保守管理及び更新に関する事。
18. 水質センターの管理に関する事。
19. 主管の薬品の保管及び浄水処理の薬品の注入に関する事。
20. 水質の試験方法に関する事。
21. 水質検査及び水質管理の受託に関する事。

3. 職員配置表

職 名 所 属		局	次	課	主	課	係	主	主	主	技	再	主	技	主	作	
		長	長	長	幹	長補佐	長	査	任	事	師	任 用 職 員	任 技 術 員	術 員	任 作 業 員	業 員	
局 長	1	1															
総務課	1			1													
庶務係	4						1	2		1							
経理係	4					1		1		2							
計	9			1		1	1	3		3							
工務課	1			1													
工務係	4					1		1	1		1						
給水係	2					1						1					
浄水場建設係	3					1			1		1						
計	10			1		3		1	2		2	1					
浄水課	1			1													
元宿浄水係	6					1		1				2	2				
上菱浄水係	2						1					1					
新里水道係	2								1					1			
黒保根水道係	1					1											
水質センター	4					1			2		1						
計	16			1		3	1	1	3		1	3	3				
合計	36	1		3		7	2	5	5	3	3	4	3				

Ⅲ. 施設概要

1. 浄水施設

施設名	元宿浄水場	上菱浄水場
水源	渡良瀬川表流水	桐生川表流水
所在地	元宿町14番37号	菱町五丁目321番地
電話番号	0277-44-3363	0277-32-1031
設置年月	昭和7年4月	昭和45年7月
面積	33,855㎡	13,655㎡
取水能力	72,500㎥/日	15,300㎥/日
設備等	<p>[ポンプ]</p> <p>取水用 9台</p> <p>送水用 21台</p> <p>洗浄水用 2台</p> <p>計 32台</p> <p>[沈砂池]</p> <p>13,800㎥/日 2池</p> <p>22,450㎥/日 2池</p> <p>[高速沈殿池]</p> <p>13,800㎥/日 2池</p> <p>23,000㎥/日 1池</p> <p>[横流式沈殿池]</p> <p>11,225㎥/日 5池</p> <p>[急速ろ過池]</p> <p>27,600㎥/日</p> <p>面積24.0㎡× 8池</p> <p>44,900㎥/日</p> <p>面積53.9㎡× 8池</p> <p>[浄水池]</p> <p>450㎥ 1池</p> <p>1,220㎥ 1池</p> <p>15,800㎥ 1池</p> <p>[高架水槽]</p> <p>1,100㎥ 1槽</p> <p>[排水処理]</p> <p>汚水池 540㎥ 1池</p> <p>汚泥池 720㎥ 1池</p> <p>濃縮槽 1,280㎥ 1槽</p> <p>[非常用自家発電設備]</p> <p>1,000kVA 1</p>	<p>[ポンプ]</p> <p>取水用 2台</p> <p>送水用 2台</p> <p>計 4台</p> <p>[沈砂池]</p> <p>7,650㎥/日 2池</p> <p>[横流式沈殿池]</p> <p>7,650㎥/日 2池</p> <p>[急速ろ過池]</p> <p>7,000㎥/日 3池</p> <p>[配水池]</p> <p>低区 1,440㎥ 2池</p> <p>高区 500㎥ 1池</p> <p>[排水処理]</p> <p>第1濃縮槽 500㎥ 1槽</p> <p>第2濃縮槽 450㎥ 1槽</p> <p>[非常用自家発電設備]</p> <p>浄水場 120kVA 1台</p> <p>取水場 100kVA 1台</p>

新里町

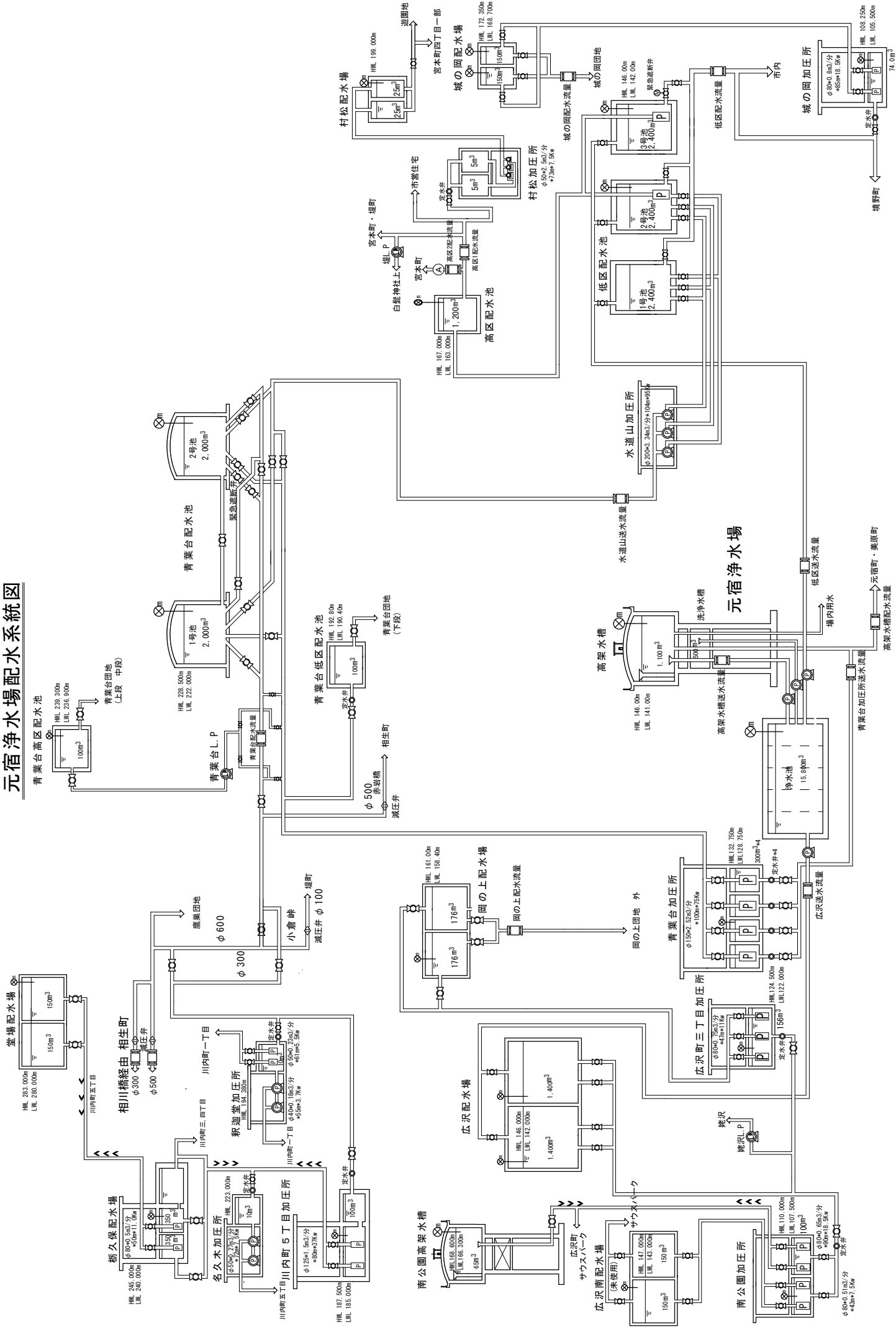
施設名	新里第6水源地	新里第8水源地	新里第9水源地
水源	地下水	地下水	地下水
所在地	新里町赤城山864番地121	新里町赤城山923番地243	新里町赤城山1418番地2
電話番号			
設置年月	昭和49年1月	昭和50年3月	昭和55年10月
面積	501㎡	522㎡	112㎡
取水能力	300㎡/日	213㎡/日	1,160㎡/日
設備等	[ポンプ] 取水用 1台	[ポンプ] 取水用 1台	[ポンプ] 取水用 1台
施設名	新里第10水源地	新里第2水源地	
水源	地下水	地下水	
所在地	新里町赤城山919番地216	新里町赤城山745番地4	
電話番号			
設置年月	昭和62年2月	平成8年12月	
面積	158㎡	347㎡	
取水能力	1,417㎡/日	1,000㎡/日	
設備等	[ポンプ] 取水用 1台	[ポンプ] 取水用 1台	

黒保根町

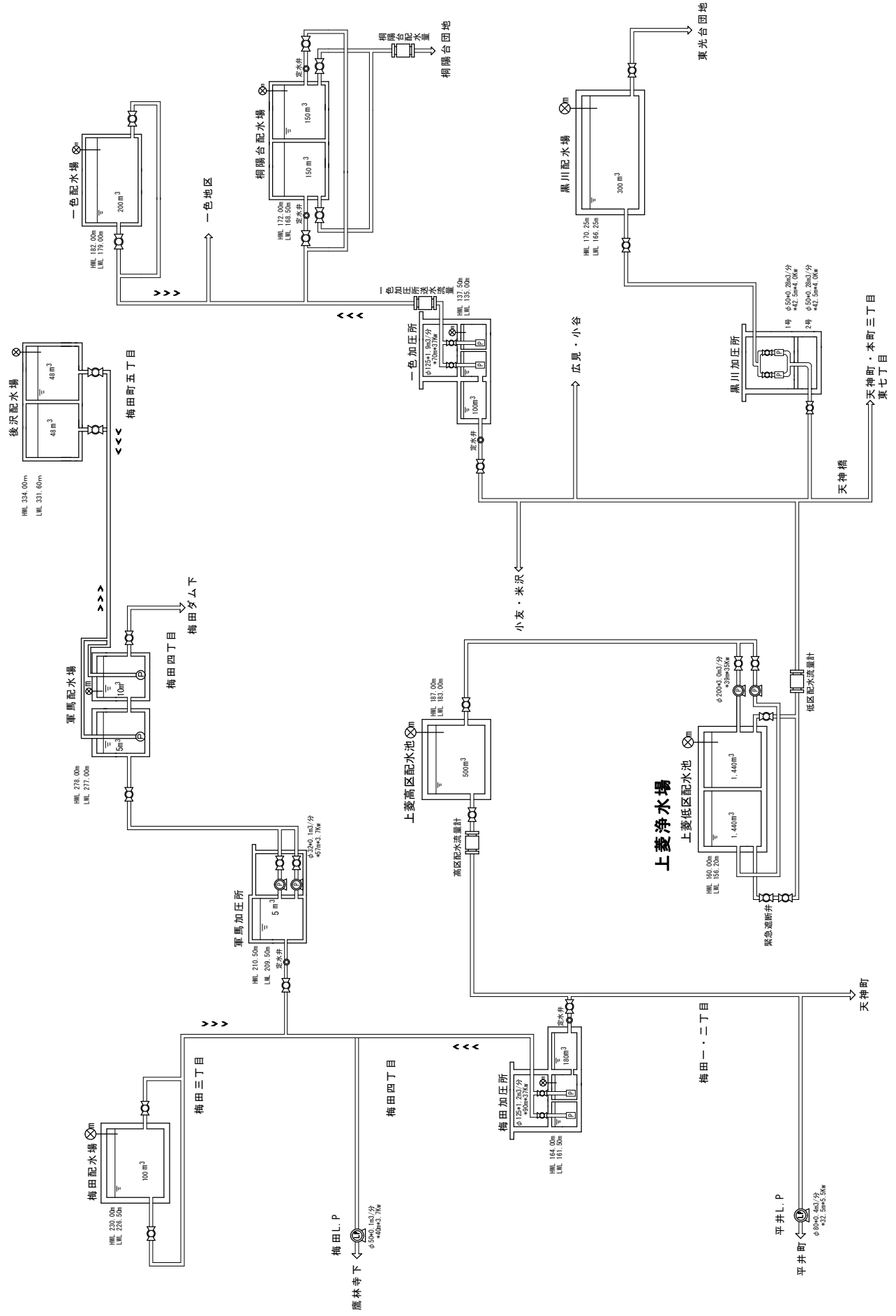
施設名	黒保根浄水場	田沢浄水場
水源	高橋川表流水 (第1水源) 深井戸地下水 (第2水源)	沢入沢表流水 (第1水源) 細程沢表流水 (第2水源)
所在地	黒保根町下田沢1900番地53、841	黒保根町上田沢2016
電話番号	0277-96-2452	0277-96-3966
設置年月	昭和50年8月	昭和54年1月
面積	5,405㎡	1,408㎡
取水能力	2,870㎡/日	150㎡/日
設備等	[ポンプ] 取水用 4台 逆洗用 3台 [沈砂池] 480㎡ 2池 [急速ろ過機] 565㎡/日 3基 [配水池] 364㎡ 1池 140㎡ 1池 [非常用自家発電設備] 180KVA 1台	[沈砂池] 31㎡ 1池 [急速ろ過機] 150㎡/日 2基 [配水池] 57㎡ 2池 [非常用自家発電設備] 30KVA 1台

施設名	古谷地区水道	高榊地区水道
水源	湧水	湧水
所在地	黒保根町上田沢1851-1	黒保根町下田沢1541-1
電話番号		
設置年月	昭和40年	昭和55年
面積	276.93m ²	18.33m ²
取水能力	9.6m ³ /日	6.0m ³ /日
設備等	〔配水池〕 25m ³ 1池	〔配水池〕 10m ³ 1池

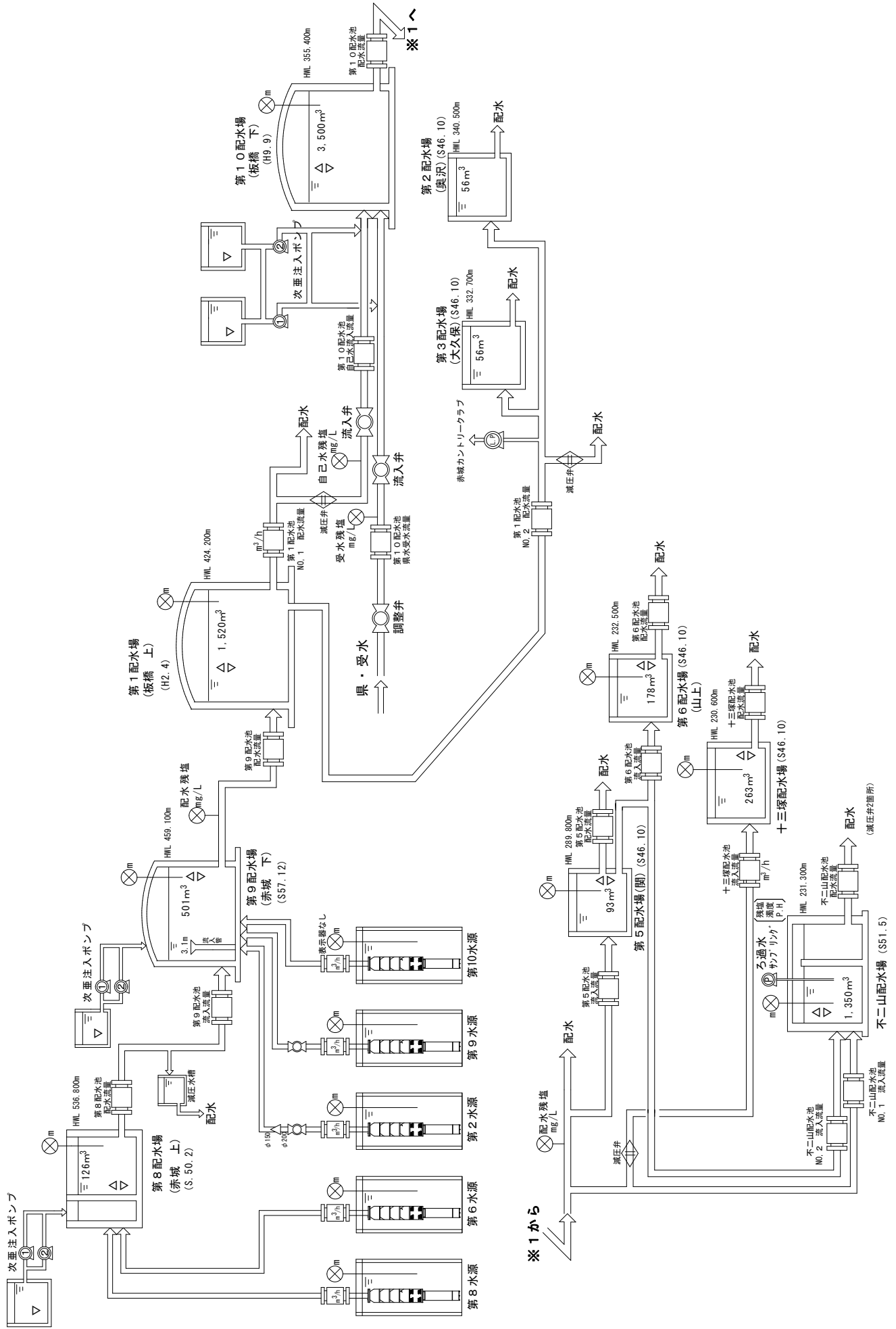
元宿浄水場配水系統図



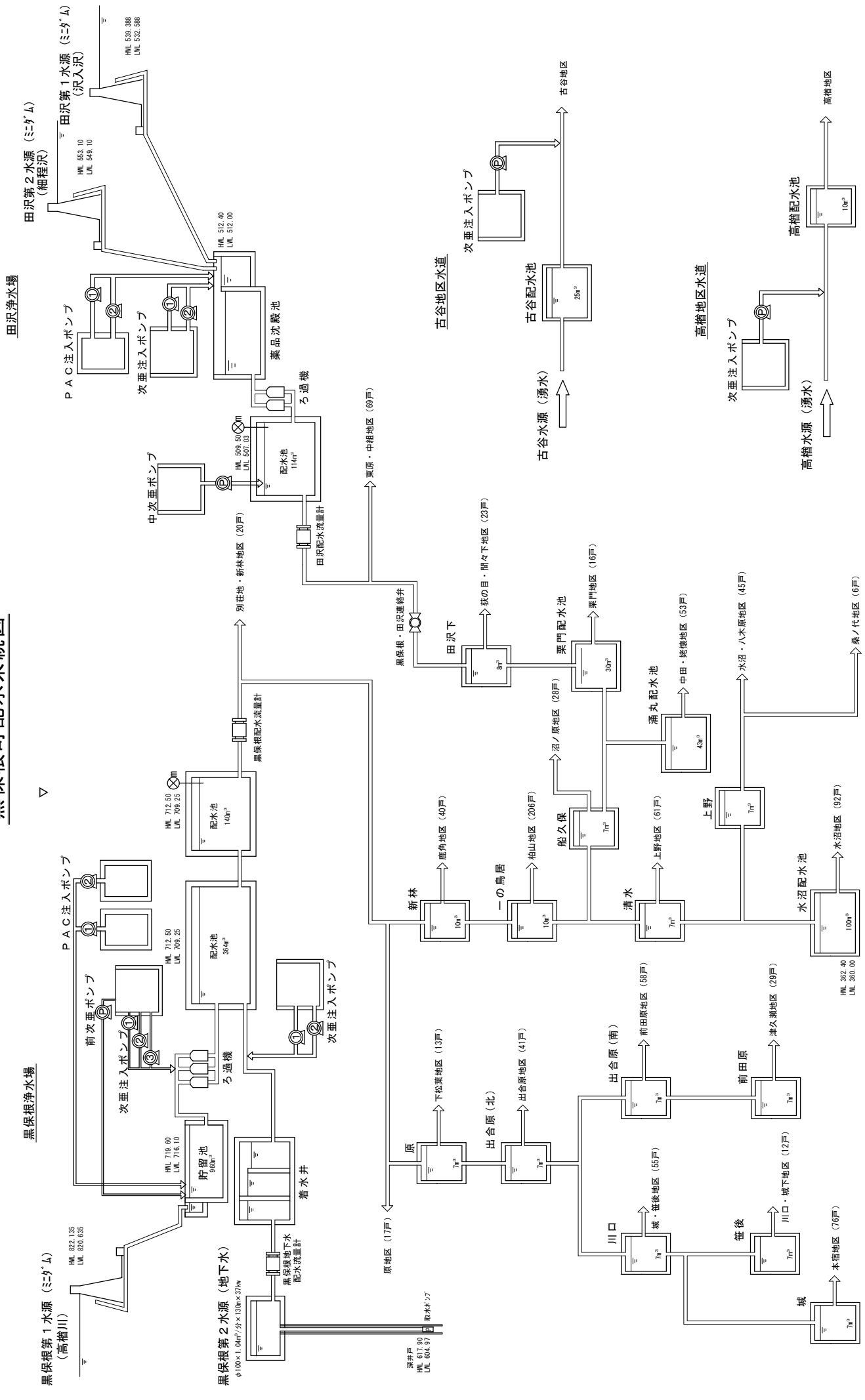
上菱浄水場配水系統図



新里町 配水系統図



黒保根町配水系統図



黒保根第1水源 (ミヅガム)
(高槽川)
H.M. 822.135
L.W. 820.635

田沢第2水源 (細程沢)
田沢第1水源 (ミヅガム)
(沢入沢)
H.M. 553.10
L.W. 549.10
H.M. 539.888
L.W. 532.888

黒保根第2水源 (地下水)
φ100×1.04m²/分×13.0m×37kw
H.M. 617.90
L.W. 604.97

取水ポンプ
H.M. 617.90
L.W. 604.97

2. 配水施設

・旧桐生地区

名称	所在地	設置	容量	給水区域
水道山配水場 (水道山低区配水池)	堤町一丁目 2816-11	昭和7年4月	2,400m ³ ×1池	本町4～6丁目の一部、錦町1～3丁目の一部、稲荷町の一部、新宿1～3丁目、三吉町1・2丁目、小梅町、琴平町、浜松町1・2丁目、仲町3丁目の一部、川岸町、旭町、東6丁目の一部、末広町、宮前町1・2丁目、堤町2丁目の一部、巴町1丁目、永楽町の一部、小曾根町の一部、境野町1～7丁目、菱町1丁目の一部
		昭和41年3月	2,400m ³ ×1池	
		昭和60年10月	2,400m ³ ×1池	
水道山配水場 (水道山高区配水池)	堤町一丁目 2816-11	昭和7年4月	1,200m ³ ×1池	堤町1～3丁目の一部、小曾根町の一部、宮本町2丁目、3・4丁目の一部、西久方町1・2丁目の一部
村松配水場	宮本町四丁目 2869-3	平成19年3月	25m ³ ×2池	宮本町3・4丁目の一部
広沢配水場	広沢町四丁目 4662	昭和37年3月	1,400m ³ ×2池	広沢町1丁目、2～5丁目の一部、6・7丁目、間ノ島、桜木町、相生町1丁目の一部、
上菱配水場 (上菱低区配水池)	菱町五丁目 321	昭和45年7月	1,440m ³ ×2池	本町1～3丁目、4～6丁目の一部、横山町、仲町1・2丁目、3丁目的一部分、泉町、東町、高砂町、東1～5丁目、6丁目的一部分、7丁目、永楽町の一部、宮本町1丁目、宮本町、東久方町1～3丁目、西久方町1・2丁目的一部分、天神町1丁目、2・3丁目的一部分、菱町1丁目、3～5丁目的一部分、
上菱配水場 (上菱高区配水池)	菱町五丁目 794	昭和45年7月	500m ³ ×1池	梅田町1丁目、2丁目的一部分、菱町5丁目的一部分、天神町2・3丁目的一部分、平井町、西久方町1丁目的一部分
岡の上配水場	広沢町三丁目 4279-24	昭和46年7月	130m ³ ×1池	広沢町3丁目的一部分
		平成6年3月	176m ³ ×2池	
黒川配水場	菱町四丁目 2469-2	昭和45年7月	300m ³ ×1池	菱町4丁目的一部分
青葉台配水場 (青葉台高区配水池)	堤町三丁目 2687	昭和47年9月	100m ³ ×1池	堤町3丁目的一部分(青葉台団地的一部分)
青葉台配水場 (青葉台低区配水池)	堤町三丁目 2685-69	昭和47年9月	100m ³ ×1池	堤町3丁目的一部分(青葉台団地的一部分)
青葉台配水場 (青葉台配水池)	堤町三丁目 2685-59	昭和57年3月	2,000m ³ ×2池	堤町1～3丁目的一部分、広沢町1丁目的一部分、相生町1丁目的一部分、2～5丁目、川内町1～4丁目、5丁目的一部分
元宿高架水槽	元宿 浄水場内	昭和53年3月	1,100m ³ ×1槽	稲荷町的一部分、錦町1～3丁目的一部分、織姫町、美原町、清瀬町、巴町2丁目、元宿町
一色配水場	菱町二丁目 1573	昭和54年3月	200m ³ ×1池	菱町1～3丁目的一部分
南公園高架水槽	広沢町五丁目 4716-17	昭和56年9月	65m ³ ×1槽	広沢町4・5丁目的一部分(南公園を含む)
栃久保配水場	川内町五丁目 2199-1	昭和57年7月	350m ³ ×2池	川内町5丁目的一部分(郵便局以北～三堂坂)
梅田配水場	梅田町三丁目 182	昭和58年3月	100m ³ ×1池	梅田町2丁目的一部分、3丁目、4丁目的一部分
堂場配水場	川内町五丁目 2604-1	昭和58年7月	75m ³ ×2池	川内町5丁目的一部分(三堂坂以北)
桐陽台配水場	菱町二丁目 3540-2	昭和58年7月	147m ³ ×2池	菱町2・3丁目的一部分(桐陽台団地を含む)
城の岡配水場	菱町一丁目 3420-3	昭和60年3月	150m ³ ×2池	菱町1・3丁目的一部分(城の岡団地を含む)
広沢南配水場	広沢町五丁目 4740-96	平成10年7月	150m ³ ×2池	休止中(広沢町5丁目的一部分)
軍場配水場	梅田町四丁目 1769-5	平成12年3月	5m ³ ×1池	梅田町4丁目的一部分(桐生川ダム下付近)
			10m ³ ×1池	
後沢配水場	梅田町五丁目 7445-2	平成5年3月	48m ³ ×2池	梅田町4丁目的一部分、5丁目(桐生川ダム上流)

・新里地区

名 称	所在地	設置	容量	給水区域
新里第1配水場	赤城山542-35	平成2年4月	1,520m ³ ×1池	板橋の一部
新里第2配水場	奥沢552-2	昭和46年10月	56m ³ ×1池	奥沢、上鶴ヶ谷、新川の一部
新里第3配水場	大久保456-4	昭和46年10月	56m ³ ×1池	大久保
新里第5配水場	関27	昭和46年10月	93m ³ ×1池	関の一部、大久保の一部 上鶴ヶ谷の一部、山上の一部
新里第6配水場	山上1693-1	昭和46年10月	178m ³ ×1池	山上の一部、小林
新里第8配水場	赤城山 923-243	昭和50年3月	126m ³ ×1池	赤城山、板橋の一部
新里第9配水場	赤城山 919-149	昭和57年12月	501m ³ ×1池	第1配水場へ
新里第10配水場	板橋245-4	平成9年9月	3,500m ³ ×1池	関の一部、大久保の一部 鶴ヶ谷の一部
不二山配水場	新川3111-4	昭和51年5月	1,350m ³ ×1池	新川、野、武井の一部
十三塚配水場	新川2664-5	昭和46年10月	263m ³ ×1池	武井、小林の一部、新川の一部

・黒保根地区

名 称	所在地	設置	容量	給水区域
黒保根配水場	下田沢 1900-53	昭和51年3月	182m ³ ×2池	水沼、八木原、宿廻、下田沢、 上田沢の一部
		平成3年3月	140m ³ ×1池	
田沢配水場	上田沢2016	昭和54年1月	57m ³ ×2池	上田沢の一部
古谷配水場	上田沢 1851-1	昭和47年2月	25m ³ ×1池	上田沢の一部
高檜配水場	下田沢 1541-1	昭和56年3月	10m ³ ×1池	下田沢の一部

3. 加圧施設

・旧桐生地区

名 称	所在地	設置	容量	備考
黒川加圧所	菱町四丁目2434-6	昭和45年7月		加圧ポンプ方式に変更
梅田加圧所	梅田町二丁目83-7	昭和45年7月 平成13年3月	100m ³ 80m ³	
水道山加圧所	堤町一丁目5-7	昭和48年3月	2,400m ³ ×2池	低区配水池に併設
一色加圧所	菱町二丁目1781-1	昭和54年3月	100m ³	
南公園加圧所	広沢町五丁目1787-1	昭和56年9月	50m ³ ×2池	
川内町五丁目加圧所	川内町五丁目1290-2	昭和57年1月	100m ³	
城の岡加圧所	菱町一丁目3417-15	昭和60年3月	74m ³	
青葉台加圧所	堤町三丁目2681-7	昭和63年3月	300m ³ ×4池	
釈迦堂加圧所	川内町一丁目453	平成元年9月	10m ³	
名久木加圧所	川内町五丁目3884	平成2年9月	10m ³	
広沢町三丁目加圧所	広沢町三丁目3931	平成6年1月	60m ³ 90m ³	
軍場加圧所	梅田町四丁目799-4	平成12年3月	5m ³	
村松加圧所	宮本町四丁目1494-1	平成19年3月	5m ³ ×2池	

4. 水質センター

所在地 桐生市元宿町14番37号 (TEL 0277-46-2376)
 開設 平成6年4月
 規模 延床面積 637.93㎡
 構造 鉄筋コンクリート造2階建
 設備等 水道水質基準の全項目検査を実施

主要分析機器一覧表

No.	装置名	型式	メーカー名	導入年月日
1	クリーンベンチ	PAU - 850BGR	ダルトン	H. 06. 03. 15
2	高圧蒸気滅菌器	HG-50LB	平山製作所	H. 30. 06. 08
3	高圧蒸気滅菌器	HG-50LB	平山製作所	H. 27. 10. 06
4	誘導結合プラズマ質量分析装置	7900	Agilent	H. 26. 08. 29
5	水銀分析計	HG - 400-100D	平沼産業	H. 20. 12. 15
6	イオンクロマトグラフ分析装置	HIC-ESP	島津製作所	R. 02. 08. 03
		HIC-NS	〃	H. 24. 02. 13
		ポストラムシステム	〃	R. 01. 07. 12
7	ガスクロマトグラフ質量分析計	GCMS-QP2010	島津製作所	H. 17. 09. 30
		7890BGC/5977AMSD	Agilent	H. 25. 07. 25
8	積分球式濁度計	WA 6000	日本電色工業	H. 27. 09. 15
9	分光光度計	UV-1280	島津製作所	H. 29. 03. 21
		U-2800	日立製作所	H. 16. 02. 27
10	全有機炭素計	TOC-L	島津製作所	H. 30. 03. 20
11	PH計	F-52	堀場製作所	H. 18. 07. 21
12	多機能分析天秤	IUW-200D	アズワン	H. 30. 03. 07
13	液体クロマトグラフ質量分析装置	LCMS-QP2020	島津製作所	H. 21. 03. 23
14	ドラフトチャンバー3台	SA-4S0	三進金属工業	H. 21. 03. 23
15	電動顕微鏡	Ni-E	Nikon	H. 28. 08. 23
16	低真空走査電子顕微鏡	JSM-5310LV	日本電子	H. 07. 07. 21
17	電気伝導率計	CM-30R	東亜DKK	H. 20. 06. 04
18		〃	〃	H. 25. 10. 10
19	微粒子カウンター	NP-500T	日本電色	H. 22. 07. 07
20	放射能測定装置	SEG-EMS	セイコーEG&G	H. 23. 10. 17
21	純水製造装置オートスチル	WA710	ヤマト科学	H. 25. 05. 21

5. 桐生市水道山記念館

所在地 桐生市堤町一丁目5番7号 (TEL 0277-44-5257)
 開設 昭和62年4月
 規模 敷地面積 1,170㎡ 床面積 167.8㎡
 構造 木造平家建
 利用案内 入館無料、開館時間：午前9時～午後5時
 休館日：月曜日・火曜日、12月29日～1月3日
 設備等 ① 水道創設時（昭和7年）の建築物の外観を保存し、昭和61年に改修
 ② 会議室、桐生市の水道の歴史・施設等の資料展示コーナー
 ③ 車椅子用スロープを設置

IV. 業 務 概 要

1. 業務実績状況(業務統計月報より)

項 目	単位	2年度	令和元年度	30年度	29年度	28年度
1. 行政区内人口	人	107,601	109,490	111,295	113,103	114,843
2. 給水区域内人口	"	107,409	109,272	111,059	112,853	114,577
3. 給水人口	"	107,310	109,164	110,945	112,734	114,455
4. 対計画給水人口普及率	%	60.2	61.3	62.3	63.3	64.2
5. 対行政区内人口普及率	"	99.7	99.7	99.7	99.7	99.7
6. 対給水区域内人口普及率	"	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9
7. 給水件数	件	52,813	53,068	53,268	53,498	53,671
口径 13mm	"	36,694	37,017	37,320	37,732	38,010
20mm	"	14,593	14,530	14,418	14,224	14,114
25mm	"	958	962	966	986	990
30mm	"	188	186	188	184	179
40mm	"	170	172	168	166	166
50mm	"	168	161	169	166	172
75mm	"	33	31	29	31	31
100mm	"	8	8	9	8	8
150mm	"	1	1	1	1	1
8. 給水栓数	栓	50,389	50,659	50,821	51,041	51,204
9. 配水量	m ³	15,786,473	15,958,897	16,211,813	16,503,825	16,828,279
元宿浄水場	"	9,871,989	9,991,724	10,153,405	10,658,137	10,813,860
上菱浄水場	"	2,980,845	2,938,060	3,063,730	2,955,790	3,116,800
新里地区	"	2,566,728	2,610,085	2,614,954	2,517,668	2,536,914
受水量(県央第二)※新里地区の内数	"	1,277,482	1,281,564	1,277,381	1,280,118	1,274,758
黒保根地区	"	354,105	407,402	367,034	359,114	346,423
受水量(みどり市水道局)	"	12,806	11,626	12,690	13,116	14,282
(受水量を除く配水量)	"	(15,773,667)	(15,947,271)	(16,199,123)	(16,490,709)	(16,813,997)
10. 一日最大配水量	"	(1/11) 47,229	(12/31) 48,490	(7/17) 49,350	(1/26) 50,797	(12/31)49,653
11. 一人一日最大配水量	ℓ	(1/11) 438	(12/31) 442	(7/17) 440	(1/26) 448	(12/31) 432
12. 一日平均配水量	m ³	43,251	43,604	44,416	45,216	46,105
13. 一人一日平均配水量	ℓ	403	399	400	401	403
14. 使用電力量	kw	6,141,967	6,151,514	6,162,812	6,282,227	6,502,989
元宿浄水場	"	2,467,948	2,455,742	2,472,525	2,574,085	2,687,717
上菱浄水場	"	453,444	425,256	406,992	394,200	406,866
新里地区	"	569,563	573,731	548,124	506,403	531,759
黒保根地区	"	72,705	79,190	67,363	71,532	105,696
加圧所等	"	2,578,307	2,617,595	2,667,808	2,736,007	2,770,951
(加圧所を除く使用電力量)	"	(3,563,660)	(3,533,919)	(3,495,004)	(3,546,220)	(3,732,038)
15. 配水量1m ³ 当り使用電力量	kw/m ³	0.389	0.385	0.380	0.381	0.386
元宿浄水場	"	0.250	0.246	0.244	0.242	0.249
上菱浄水場	"	0.152	0.145	0.133	0.133	0.131
新里地区	"	0.222	0.220	0.210	0.201	0.210
黒保根地区	"	0.205	0.194	0.184	0.199	0.305
(加圧所を除く使用電力量)	"	(0.226)	(0.222)	(0.216)	(0.215)	(0.222)
16. 有収水量	m ³	12,724,278	12,720,755	13,098,814	13,346,240	13,448,538
口径 13mm	"	6,911,904	6,839,122	7,052,835	7,263,190	7,383,256
20mm	"	3,623,690	3,507,170	3,529,834	3,544,370	3,499,158
25mm	"	542,862	566,300	596,096	617,302	612,640
30mm	"	219,516	237,874	254,342	251,126	247,140
40mm	"	365,436	400,344	416,464	420,772	422,750
50mm	"	558,094	606,480	635,356	659,334	686,262
75mm	"	331,224	348,298	370,148	359,684	348,630
100mm	"	115,744	131,630	153,534	143,318	159,560
150mm	"	33,904	61,926	67,470	65,996	67,270
私設消火栓	"	0	0	0	0	0
損傷弁償水量	"	90	176	536	52	780
分水量(みどり市水道局)	"	21,814	21,435	22,199	21,096	21,092
17. 一日平均有収水量	"	34,861	34,756	35,887	36,565	36,845
18. 一人一日平均有収水量	ℓ	325	318	323	324	322
19. 有収率	%	80.6	79.7	80.8	80.9	79.9
20. 無収水量(メーター不感水量は除く)	m ³	48,312	32,377	40,820	51,581	32,550
局事業用水量	"	32,928	21,870	19,148	26,118	17,920
消防用水量	"	1,186	907	624	837	616
漏水減免水量	"	14,198	9,600	21,048	24,626	14,014
21. 無効水量(破裂事故による漏水量)	"	377	6,704	9,428	31,361	22,179

2. 口径別・管種別配水管延長

(単位:m)

管種 口径	铸铁管	石綿管	鋼管	ビニール管	ポリエチレン管	計
50mm	63.82	0	19,594.73	46,809.41	13,313.75	79,781.71
75mm	42,596.33	0	751.30	70,807.00	1,119.00	115,273.63
100mm	161,318.91	0	2,484.00	31,333.85	5,980.60	201,117.36
125mm	0	0	302.30	2,390.00	0	2,692.30
150mm	105,015.12	0	1,185.50	17,534.76	0	123,735.38
200mm	42,256.00	0	358.00	2,964.00	0	45,578.00
250mm	24,498.20	0	220.00	0	0	24,718.20
300mm	25,490.64	0	970.50	0	0	26,461.14
350mm	9,541.00	0	384.00	0	0	9,925.00
400mm	10,113.00	0	0	0	0	10,113.00
450mm	4,724.00	0	111.00	0	0	4,835.00
500mm	4,399.00	0	265.00	0	0	4,664.00
600mm	1,006.00	0	0	0	0	1,006.00
700mm	1,223.00	0	437.00	0	0	1,660.00
800mm	277.00	0	0	0	0	277.00
計	432,522.02	0.00	27,063.33	171,839.02	20,413.35	651,837.72

3. 月別配水量及び有収水量

区分 月別	配水量 (m ³)			有収水量 (m ³)			有収率 (%)		
	令和2年度 (A) (比率A/B)	元年度 (B)	30年度	2年度 (C) (比率C/D)	元年度 (D)	30年度	2年度	元年度	30年度
4	1,288,927 97.5	1,322,093	1,337,865	1,004,306 102.2	982,794	994,958	77.9	74.3	74.4
5	1,307,564 94.9	1,377,982	1,376,694	1,076,141 98.0	1,098,654	1,130,118	82.3	79.7	82.1
6	1,275,285 97.8	1,304,603	1,337,601	1,031,370 98.2	1,049,926	1,057,860	80.9	80.5	79.1
7	1,300,917 95.6	1,360,513	1,426,717	1,103,881 100.9	1,093,521	1,161,409	84.9	80.4	81.4
8	1,378,625 100.0	1,378,185	1,403,628	1,052,994 99.7	1,056,350	1,126,840	76.4	76.6	80.3
9	1,276,703 98.4	1,297,160	1,292,951	1,136,977 96.4	1,179,154	1,208,356	89.1	90.9	93.5
10	1,325,428 100.2	1,322,413	1,347,002	1,052,260 101.7	1,034,504	1,049,493	79.4	78.2	77.9
11	1,293,744 100.3	1,290,464	1,293,622	1,076,376 104.3	1,031,886	1,120,708	83.2	80.0	86.6
12	1,376,187 100.8	1,365,457	1,379,292	1,019,334 99.9	1,019,978	1,036,960	74.1	74.7	75.2
1	1,389,539 103.1	1,348,121	1,390,296	1,133,474 100.0	1,132,981	1,150,506	81.6	84.0	82.8
2	1,232,406 97.2	1,267,528	1,258,943	1,042,246 101.6	1,025,868	1,047,566	84.6	80.9	83.2
3	1,341,148 101.3	1,324,378	1,367,202	994,919 98.0	1,015,139	1,014,040	74.2	76.7	74.2
計	15,786,473	15,958,897	16,211,813	12,724,278	12,720,755	13,098,814	80.6	79.7	80.8

(参考) 施設別配水量

(単位:m³)

区分 月別	元宿浄水場	上菱浄水場	受水量 (みどり市)	新里地区 (地下水)	受水量 (県央第二)	黒保根地区	計
4	804,162	240,590	2,032	103,884	105,081	33,178	1,288,927
5	813,350	248,840	0	107,229	108,526	29,619	1,307,564
6	795,338	241,275	1,934	105,829	105,474	25,435	1,275,285
7	814,997	245,453	0	105,576	109,163	25,728	1,300,917
8	867,488	258,594	2,020	110,163	109,560	30,800	1,378,625
9	802,349	243,159	0	98,692	105,190	27,313	1,276,703
10	827,215	253,106	2,130	103,486	108,767	30,724	1,325,428
11	806,133	247,047	0	104,358	105,014	31,192	1,293,744
12	863,720	256,785	2,138	113,504	108,375	31,665	1,376,187
1	876,476	257,611	0	115,200	108,323	31,929	1,389,539
2	769,363	232,768	0	105,294	97,295	27,686	1,232,406
3	831,398	255,617	2,552	116,031	106,714	28,836	1,341,148
計	9,871,989	2,980,845	12,806	1,289,246	1,277,482	354,105	15,786,473

4. 配水量分析表

区 分		令和2年度	令和元年度	比較増減 (当年-前年)=(F)	前年対比 (F÷前年)×100
配水量 (A)		15,786,473 m ³	15,958,897 m ³	-172,424 m ³	-1.1 %
有 収 水 量	使用水量	12,702,374 m ³	12,699,144 m ³	3,230 m ³	
	分水量	21,814 m ³	21,435 m ³	379 m ³	
	損傷弁償水量	90 m ³	176 m ³	-86 m ³	
	小計 (B)	12,724,278 m ³	12,720,755 m ³	3,523 m ³	0.0 %
効 水 無 収 水 量	メーター不感水量	508,967 m ³	508,823 m ³	144 m ³	
	局事業用水量	32,928 m ³	21,870 m ³	11,058 m ³	
	消防用水量	1,186 m ³	907 m ³	279 m ³	
	その他(認定差水量)	14,198 m ³	9,600 m ³	4,598 m ³	
	小計 (C)	557,279 m ³	541,200 m ³	16,079 m ³	3.0 %
計 (B)+(C)=(D)		13,281,557 m ³	13,261,955 m ³	19,602 m ³	0.1 %
無 効 水 量	漏水量	1,656,327 m ³	1,617,679 m ³	38,648 m ³	
	不明水量	848,589 m ³	1,079,263 m ³	-230,674 m ³	
	計 (E)	2,504,916 m ³	2,696,942 m ³	-192,026 m ³	-7.1 %
有効無収水量と 無効水量の計 (C)+(E)		3,062,195 m ³	3,238,142 m ³	-175,947 m ³	-5.4 %
有収水量率 (B)/(A)×100		80.6 %	79.7 %	0.9 %	
有効水量率 (D)/(A)×100		84.1 %	83.1 %	1.0 %	

5. 口径別・月別有収水量と料金

水量: m³
料金: 円 (消費税込)

月別	φ 1 3 mm			φ 2 0 mm			φ 2 5 mm		
	給水量	料 金	1m ³ 当り料 金	給水量	料 金	1m ³ 当り料 金	給水量	料 金	1m ³ 当り料 金
4	545,436	77,882,000	142.79	303,504	56,289,600	185.47	47,974	8,861,047	184.71
5	593,180	83,656,803	141.03	291,060	53,563,642	184.03	41,790	7,811,230	186.92
6	568,226	80,850,941	142.29	316,520	58,047,411	183.39	44,520	8,359,179	187.76
7	601,508	84,633,076	140.70	294,632	54,073,451	183.53	44,128	8,155,439	184.81
8	561,588	79,894,951	142.27	311,996	57,468,145	184.20	47,514	8,783,610	184.86
9	616,078	86,509,330	140.42	301,418	54,981,136	182.41	46,658	8,496,787	182.11
10	568,696	81,018,925	142.46	315,910	57,906,407	183.30	51,582	9,342,893	181.13
11	576,910	81,615,297	141.47	288,206	53,315,963	184.99	42,090	7,878,221	187.18
12	552,576	78,754,814	142.52	306,666	56,672,514	184.80	49,084	8,993,095	183.22
1	616,736	86,644,290	140.49	309,666	56,159,171	181.35	41,614	7,799,918	187.43
2	569,072	80,912,501	142.18	315,602	57,796,433	183.13	49,666	9,063,522	182.49
3	541,898	77,164,935	142.40	268,510	50,809,054	189.23	36,242	7,036,775	194.16
計	6,911,904	979,537,863	141.72	3,623,690	667,082,927	184.09	542,862	100,581,716	185.28

月別	φ 3 0 mm			φ 4 0 mm			φ 5 0 mm		
	給水量	料 金	1m ³ 当り料 金	給水量	料 金	1m ³ 当り料 金	給水量	料 金	1m ³ 当り料 金
4	15,824	2,763,331	174.63	27,068	4,896,594	180.90	46,998	8,165,808	173.75
5	22,822	3,820,243	167.39	32,876	5,586,926	169.94	40,756	7,168,024	175.88
6	14,248	2,533,103	177.79	23,602	4,415,279	187.07	43,472	7,747,933	178.23
7	21,038	3,581,386	170.23	33,264	5,647,924	169.79	48,268	8,319,489	172.36
8	12,166	2,248,770	184.84	27,906	5,008,005	179.46	51,304	8,850,645	172.51
9	23,618	3,936,581	166.68	36,218	6,048,450	167.00	50,030	8,484,210	169.58
10	12,578	2,328,001	185.09	29,418	5,199,816	176.76	48,372	8,373,331	173.10
11	24,100	3,999,068	165.94	34,300	5,792,926	168.89	46,304	7,940,164	171.48
12	13,178	2,407,511	182.69	27,832	4,990,286	179.30	48,204	8,336,340	172.94
1	24,406	4,038,973	165.49	33,678	5,706,270	169.44	45,356	7,807,994	172.15
2	13,584	2,455,736	180.78	28,584	5,110,858	178.80	46,614	8,124,815	174.30
3	21,954	3,704,242	168.73	30,690	5,289,812	172.36	42,416	7,463,433	175.96
計	219,516	37,816,945	172.27	365,436	63,693,146	174.29	558,094	96,782,186	173.42

月別	φ 7 5 mm			φ 1 0 0 mm			φ 1 5 0 mm		
	給水量	料 金	1m ³ 当り料 金	給水量	料 金	1m ³ 当り料 金	給水量	料 金	1m ³ 当り料 金
4	11,576	2,191,886	189.35	5,926	1,067,044	180.06	0	0	0.00
5	34,130	5,485,606	160.73	8,290	1,556,750	187.79	7,704	1,252,336	162.56
6	13,396	2,541,796	189.74	6,712	1,216,314	181.21	674	137,981	204.72
7	37,926	6,075,415	160.19	12,418	2,472,550	199.11	7,014	1,155,942	164.80
8	18,852	3,303,206	175.22	7,914	1,503,827	190.02	13,664	2,172,992	159.03
9	43,190	6,751,050	156.31	14,618	2,540,229	173.77	1,370	367,476	268.23
10	19,670	3,417,478	173.74	6,034	1,082,132	179.34	0	0	0.00
11	45,120	7,020,938	155.61	14,524	2,427,640	167.15	1,068	325,286	304.57
12	15,390	2,820,036	183.24	6,404	1,133,820	177.05	0	0	0.00
1	42,824	6,699,918	156.45	13,914	2,342,422	168.35	1,612	401,284	248.94
2	13,166	2,510,402	190.67	5,958	1,071,514	179.84	0	0	0.00
3	35,984	5,887,960	163.63	13,032	2,219,206	170.29	798	287,568	360.36
計	331,224	54,705,691	165.16	115,744	20,633,448	178.27	33,904	6,100,865	179.95

水量: m³
 料金: 円 (消費税込)

月別	私設消火栓			小 計			修繕中の放水量		
	給水量	料 金	1m ³ 当り 料 金	給水量	料 金	1m ³ 当り 料 金	給水量	料 金	1m ³ 当り 料 金
4	0	0	0.00	1,004,306	162,117,310	161.42	0	0	0.00
5	0	0	0.00	1,072,608	169,901,560	158.40	0	0	0.00
6	0	0	0.00	1,031,370	165,849,937	160.81	0	0	0.00
7	0	0	0.00	1,100,196	174,114,672	158.26	0	0	0.00
8	0	0	0.00	1,052,904	169,234,151	160.73	90	31,900	354.44
9	0	0	0.00	1,133,198	178,115,249	157.18	0	0	0.00
10	0	0	0.00	1,052,260	168,668,983	160.29	0	0	0.00
11	0	0	0.00	1,072,622	170,315,503	158.78	0	0	0.00
12	0	0	0.00	1,019,334	164,108,416	161.00	0	0	0.00
1	0	0	0.00	1,129,806	177,600,240	157.20	0	0	0.00
2	0	0	0.00	1,042,246	167,045,781	160.27	0	0	0.00
3	0	0	0.00	991,524	159,862,985	161.23	0	0	0.00
計	0	0	0.00	12,702,374	2,026,934,787	159.57	90	31,900	354.44

月別	分 水 量			小 計			合 計		
	給水量	料 金	1m ³ 当り 料 金	給水量	料 金	1m ³ 当り 料 金	給水量	料 金	1m ³ 当り 料 金
4	0	0	0.00	0	0	0.00	1,004,306	162,117,310	161.42
5	3,533	527,031	149.17	3,533	527,031	149.17	1,076,141	170,428,591	158.37
6	0	0	0.00	0	0	0.00	1,031,370	165,849,937	160.81
7	3,685	558,056	151.44	3,685	558,056	151.44	1,103,881	174,672,728	158.24
8	0	0	0.00	90	31,900	0.00	1,052,994	169,266,051	160.75
9	3,779	557,024	147.40	3,779	557,024	147.40	1,136,977	178,672,273	157.15
10	0	0	0.00	0	0	0.00	1,052,260	168,668,983	160.29
11	3,754	554,283	147.65	3,754	554,283	147.65	1,076,376	170,869,786	158.75
12	0	0	0.00	0	0	0.00	1,019,334	164,108,416	161.00
1	3,668	541,684	147.68	3,668	541,684	147.68	1,133,474	178,141,924	157.16
2	0	0	0.00	0	0	0.00	1,042,246	167,045,781	160.27
3	3,395	505,242	148.82	3,395	505,242	148.82	994,919	160,368,227	161.19
計	21,814	3,243,320	148.68	21,904	3,275,220	149.53	12,724,278	2,030,210,007	159.55

6. 口径別件数・水量及び料金

(消費税込)

口径	件数※ (件)	水量 (m ³)	料金 (円)	水量比率 (%)	月 平 均		
					(件)	(m ³ /件)	(円/件)
13 mm	219,140	6,911,904	979,537,863	54.41	18,262	32	4,470
20 mm	87,479	3,623,690	667,082,927	28.53	7,290	41	7,626
25 mm	5,759	542,862	100,581,716	4.27	480	94	17,465
30 mm	1,121	219,516	37,816,945	1.73	93	196	33,735
40 mm	1,012	365,436	63,693,146	2.88	84	361	62,938
50 mm	1,009	558,094	96,782,186	4.39	84	553	95,919
75 mm	178	331,224	54,705,691	2.61	15	1,861	307,335
100 mm	62	115,744	20,633,448	0.91	5	1,867	332,798
150 mm	9	33,904	6,100,865	0.27	1	3,767	677,874
計	315,769	12,702,374	2,026,934,787	-	26,314	40	6,419

(※2か月毎の延べ件数)

(私設消火栓・損傷弁償・分水を除く)

7. 水道料金取扱状況

(消費税込)

区分	件数(件)	割合(%)	金額(円)	割合(%)
口座振替	240,021	75.86	1,600,720,313	78.89
金融機関等窓口	10,349	3.27	117,231,334	5.78
コンビニエンスストア	65,750	20.78	309,879,140	15.27
集金分(委託業者等)	269	0.09	1,229,875	0.06
計	316,389	-	2,029,060,662	-

8. 水道料金の収納状況

(消費税込)

年 度	令和2年度調定		令和2年度収入		令和2年度未収			備 考	
	件数(件)	調定額 (A) (円)	* 件数(件)	収入額 (B) (円)	件数(件)	未収額 (A)-(B)=(C) (円)	収納額 (B)/(A)		
令和2年度	315,925	2,027,064,855	284,930	1,838,511,132	30,995	188,553,723	90.70%		
令和元年度	31,750	191,702,859	31,189	189,745,752	561	1,957,107	98.98%		
平成30年度	537	1,625,668	87	251,474	450	1,374,194	15.47%		
平成29年度	522	2,140,455	53	166,910	469	1,973,545	7.80%		
平成28年度	442	1,716,693	25	137,949	417	1,578,744	8.04%		
平成27年度	514	2,106,656	25	77,655	489	2,029,001	3.69%	不納欠損 355件 1,554,608円	
平成26年度	135	648,037	22	38,712	113	609,325	5.97%	不納欠損 69件 346,141円	
平成25年度	79	564,583	11	66,224	68	498,359	11.73%	不納欠損 36件 237,710円	
平成24年度	66	310,363	15	26,562	51	283,801	8.56%	不納欠損 23件 144,584円	
平成23年度	63	615,641	13	19,570	50	596,071	3.18%	不納欠損 19件 138,662円	
平成22年度	58	374,643	12	11,770	46	362,873	3.14%	不納欠損 17件 201,166円	
平成21年度	49	358,129	5	1,200	44	356,929	0.34%	不納欠損 27件 235,132円	
平成20年度	41	331,197	0	0	41	331,197	0.00%	不納欠損 30件 247,814円	
平成19年度	33	332,301	1	4,516	32	327,785	1.36%	不納欠損 18件 121,874円	
平成18年度	26	216,872	0	0	26	216,872	0.00%	不納欠損 12件 81,162円	
平成17年度	24	277,797	0	0	24	277,797	0.00%	不納欠損 12件 90,108円	
平成16年度	53	448,880	0	0	53	448,880	0.00%	不納欠損 12件 84,826円	
平成15年度	10	84,152	1	1,236	9	82,916	1.47%	不納欠損 12件 68,674円	
平成14年度	7	54,006	0	0	7	54,006	0.00%	不納欠損 13件 103,116円	
平成13年度	8	112,280	0	0	8	112,280	0.00%	不納欠損 14件 155,260円	
平成12年度	1	20,136	0	0	1	20,136	0.00%	不納欠損 7件 62,896円	
平成11年度	0	0	0	0	0	0	-	不納欠損 5件 26,530円	
合併前新里分 過年度分	0	0	0	0	0	0	-		
合 計	350,343	2,231,106,203	316,389	2,029,060,662	33,954	202,045,541	90.94%	令和2年度不納欠損 681件 3,900,263円	

※ 令和2年度調定額のうち令和3年3月分調定分は、納期未到来のため未収額に含まれています。

9. 水道料金の改定(口径別に移行後)

口径別 実施年月		13 mm	20 mm	25 mm	30 mm	40 mm	50 mm	75 mm	100 mm	150 mm	私設消火栓
昭和54年10月	基本	円 250	円 670	円 1,080	円 1,680	円 3,333	円 4,930	円 12,320	円 20,940	円 45,850	1回10分間 1,500円
	従量	10m ³ まで 65円/m ³		30m ³ まで 80円/m ³		11~30m ³ まで 80円/m ³		31m ³ 以上 90円/m ³		31m ³ 以上 90円/m ³	
昭和60年4月	基本	円 440	円 1,180	円 1,920	円 2,960	円 5,880	円 8,710	円 21,770	円 37,020	円 81,430	1回10分間以内 1,800円
	従量	10m ³ まで 70円/m ³		11m ³ 以上 95円/m ³							
平成9年4月	基本	円 600	円 1,500	円 2,200	円 3,200	円 6,000	円 8,900	円 22,100	円 36,600	円 80,400	1回10分間以内 1,800円
	従量	10m ³ まで 60円/m ³		30m ³ まで 115円/m ³		11~20m ³ まで 115円/m ³		21m ³ 以上 127円/m ³		31m ³ 以上 127円/m ³	

10. 電力使用状況及び料金

区分 月	元宿浄水場		上菱浄水場		新里		黒保根		小計	
	使用量(kWh)	金額(円)	使用量(kWh)	金額(円)	使用量(kWh)	金額(円)	使用量(kWh)	金額(円)	使用量(kWh)	金額(円)
4	204,158	4,107,930	38,909	779,985	48,966	961,795	5,370	150,253	297,403	5,999,963
5	194,822	3,887,592	36,638	744,165	46,488	924,230	11,033	250,827	288,981	5,806,814
6	203,810	4,116,554	33,232	683,105	45,926	911,606	4,694	139,814	287,662	5,851,079
7	196,903	4,058,490	33,933	689,129	45,911	940,233	4,699	140,531	281,446	5,828,383
8	217,744	4,299,152	35,482	742,789	48,490	991,445	4,578	144,248	306,294	6,177,634
9	221,035	4,232,525	40,113	798,680	46,989	936,376	4,844	145,797	312,981	6,113,378
10	199,887	3,695,547	38,154	734,038	46,588	854,040	5,065	144,104	289,694	5,427,729
11	205,946	3,640,190	35,685	636,407	43,797	765,969	6,183	154,685	291,611	5,197,251
12	202,706	3,503,056	38,247	659,880	46,228	782,580	5,280	139,456	292,461	5,084,972
1	219,816	3,633,819	43,380	724,661	55,625	901,409	5,583	142,772	324,404	5,402,661
2	216,832	3,654,147	41,785	704,580	46,390	777,389	5,631	143,528	310,638	5,279,644
3	184,562	2,787,866	39,173	679,152	50,874	854,694	4,942	135,332	279,551	4,457,044
計	2,468,221	45,616,868	454,731	8,576,571	572,272	10,601,766	67,902	1,831,347	3,563,126	66,626,552

区分 月	加圧所、配水場等		合計	
	使用量(kWh)	金額(円)	使用量(kWh)	金額(円)
4	216,785	4,390,558	514,188	10,390,521
5	211,958	3,878,289	500,939	9,685,103
6	212,731	3,878,736	500,393	9,729,815
7	212,186	3,892,254	493,632	9,720,637
8	219,240	4,046,209	525,534	10,223,843
9	233,576	4,188,976	546,557	10,302,354
10	218,906	3,742,597	508,600	9,170,326
11	218,451	3,478,037	510,062	8,675,288
12	210,989	3,297,642	503,450	8,382,614
1	224,427	3,394,503	548,831	8,797,164
2	218,953	3,351,738	529,591	8,631,382
3	201,310	3,174,934	480,861	7,631,978
計	2,599,512	44,714,473	6,162,638	111,341,025

(参考)施設別1m³あたりの電力使用量及び料金

施設名	年間総配水量(m ³)	1m ³ あたりの 使用量(kWh)	1m ³ あたりの 料金(円)	電力量1kWhあたりの 料金(円)
元宿浄水場	9,871,989	0.250	4.62	18.5
上菱浄水場	2,980,845	0.153	2.88	18.9
新里水道	2,566,728	0.223	4.13	18.5
黒保根水道	354,105	0.192	5.17	27.0
計	15,773,667	0.226	4.22	18.7

1 1. 薬品使用状況

区分 月	ポリ塩化アルミニウム (PAC) (kg)				苛性ソーダ(kg)			次亜塩素酸ナトリウム(kg)					活性炭(kg)		
	元宿浄水場	上菱浄水場	黒保根水道	計	元宿浄水場	上菱浄水場	計	元宿浄水場	上菱浄水場	新里水道	黒保根水道	計	元宿浄水場	上菱浄水場	計
4	14,111	7,048	92	21,251	81	0	81	8,800	2,700	495	256	12,251	0	3,572	3,572
5	14,463	5,744	97	20,304	14	15	29	11,126	2,643	512	275	14,556	0	1,458	1,458
6	14,712	5,856	124	20,692	14	14	28	11,208	2,671	479	295	14,653	0	460	460
7	16,165	5,393	94	21,652	0	15	15	10,966	2,496	501	348	14,311	0	100	100
8	17,744	5,611	130	23,485	0	0	0	12,358	3,050	556	251	16,215	0	699	699
9	16,897	6,046	90	23,033	0	0	0	12,581	2,933	473	282	16,269	240	1,627	1,867
10	16,112	5,132	108	21,352	0	0	0	10,163	2,847	495	278	13,783	0	0	0
11	15,260	4,894	98	20,252	0	0	0	8,620	2,089	484	282	11,475	0	0	0
12	15,412	5,173	104	20,689	0	0	0	8,142	2,263	528	266	11,199	0	200	200
1	15,388	4,492	74	19,954	0	0	0	8,701	2,264	550	268	11,783	0	0	0
2	13,557	3,953	126	17,636	0	0	0	8,336	2,058	468	235	11,097	0	0	0
3	14,712	4,293	120	19,125	0	0	0	9,642	2,379	561	231	12,813	0	550	550
計	184,533	63,635	1,257	249,425	109	44	153	120,643	30,393	6,102	3,267	160,405	240	8,666	8,906

1 2. 量水器設置数及び取替状況

(1) 量水器設置数

(単位:件)

年度	口径										計
	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm		
2	42,238	16,018	1,068	207	201	201	34	22	2	59,991	
1	42,103	15,955	1,072	205	197	201	34	22	2	59,791	
30	42,188	15,722	1,075	201	195	200	34	22	2	59,639	
29	42,320	15,491	1,085	200	191	203	34	22	2	59,548	

(2) 量水器取替状況

(単位:件)

区分	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm	計
検満	5,923	1,774	138	33	36	16	3	3	0	7,926
故障	6	3	2	0	1	1	0	0	0	13
破損	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
凍結	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
その他	7	2	0	0	0	0	0	0	0	9
計	5,940	1,779	140	33	37	17	3	3	0	7,952

(3) 量水器返納状況

(単位:件)

区分	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm	計
取替	5,943	1,780	141	33	37	16	3	3	0	7,956
閉栓	149	12	3	1	0	0	0	0	0	165
改造	25	6	5	3	0	2	0	0	0	41
計	6,117	1,798	149	37	37	18	3	3	0	8,162

1 3. 給水申込・使用中止及び変更等の件数

(単位:件)

	給水申込		中止	使用者変更	消防 使用	メーター	
	新設	開栓				取付	撤去
4	18	467	691	224	3	22	18
5	4	341	561	215	6	26	19
6	16	272	486	206	0	18	25
7	15	301	495	192	0	33	15
8	2	288	614	228	1	24	11
9	6	239	446	196	0	16	18
10	26	321	582	310	1	21	12
11	31	294	588	234	4	26	33
12	24	260	529	272	2	17	15
1	3	253	478	230	4	16	19
2	37	316	574	221	0	27	24
3	7	687	1336	236	4	29	25
計	189	4,039	7,380	2,764	25	275	234

1 4. 給水装置工事及び修繕工事

(1) 給水装置工事

(単位:件)

区分 月	新設	改造	連合線	撤去	計
5	5	56	0	2	63
6	32	35	4	5	76
7	46	37	1	2	86
8	10	37	0	5	52
9	77	38	1	3	119
10	26	142	5	1	174
11	11	40	0	3	54
12	25	22	3	0	50
1	21	34	3	8	66
2	34	40	1	2	77
3	17	35	3	3	58
計	318	546	22	36	922

(2) 修繕工事

(単位:件)

工 種	直営	委託	計
配水管破裂修繕	0	28	28
給水管破裂修繕	94	460	554
消火栓、制水弁修繕	0	29	29
舗装補修	0	20	20
計	94	537	631

1日当たり(365日) 0.26 1.47 1.73

1 5. 口径別加入件数及び加入金

口径 (mm)	件数	単価 (円)	金額 (円)
φ 13	145	33,000	4,785,000
φ 20	190	82,500	15,675,000
φ 25	2	126,500	253,000
φ 30	1	187,000	187,000
φ 40	0	335,500	0
φ 50	0	517,000	0
φ 75	0	1,177,000	0
φ 100	0	2,090,000	0
φ 13×1個→φ 20	46	49,500	2,277,000
φ 13×2個→φ 20	3	16,500	49,500
φ 13×3個+φ 20→φ 40	1	154,000	154,000
φ 13+φ 20→φ 25	1	11,000	11,000
φ 13→φ 30	2	154,000	308,000
φ 20→φ 30	1	104,500	104,500
φ 25→φ 40	2	209,000	418,000
φ 13→φ 25	2	93,500	187,000
合計	396件		24,409,000

1 6. 漏水調査実績 (委託)

(1) 調査結果

区分	年度	R2	R1	H30	H29	H28	備考
調査延長	(km)	514.0	417.0	417.0	417.0	417.0	
漏水発見件数	(件)	142	121	129	153	134	
	公道上	75	89	98	115	117	
	宅地内	67	32	31	38	17	メータ継手類
推定防止量	(m ³ /h)	64.19	52.71	63.78	92.81	48.51	
	(m ³ /日)	1,540.5	1,265.0	1,530.6	2,227.4	1,164.2	
漏水発生率	(件/km)	0.28	0.29	0.31	0.37	0.32	
推定防止量 (時間1km当たり)	(m ³ /(h×km))	0.125	0.126	0.153	0.223	0.116	

(2) 漏水防止(修理)令和2年度内訳

区分	配水管	制水弁	消火栓	空気弁	計
配水管関係 (件)	7	4	1	2	14
区分	給水管	分水栓	止水栓	メータ継手類	計
給水管関係 (件)	97	5	23	3	128
合計	104	9	24	5	142

17. 桐生市水道局指定給水装置工事事業者名簿

指定番号	事業者名	代表者	指定(更新) 年月日	事業所の所在地	電話番号
新 6	星野土木(株)	星野 重雄	R2.9.30	桐生市新里町新川6	0277-74-0701
新 9	倉沢管工	倉沢 嘉市郎	R2.9.30	桐生市新里町板橋646	0277-74-1177
新 13	(株)清水建設	天田 泰隆	R2.9.30	桐生市新里町武井565-3	0277-74-1051
新 27	(有)シカダ設備	高橋 圭司	R2.9.30	みどり市笠懸町鹿3318-3	0277-76-4152
新 29	鶴岡設備	鶴岡 多加史	R2.9.30	桐生市新里町板橋367-1	0277-74-8483
新 32	ツルガヤサービス	鶴谷 正人	R2.9.30	桐生市新里町大久保304-1	0277-74-3219
新 33	橋本設備	橋本 恵司	H11.4.15	桐生市新里町山上491-2	0277-74-8501
新 36	(有)山本水道工業	山本 和昭	H11.7.19	太田市大原町1522番地1	0277-78-5131
新 38	三山設備	中谷 克己	H11.7.19	前橋市粕川町込皆戸37-2	027-285-4299
新 43	江原設備	江原 清	H11.12.3	桐生市新里町野289-1	0277-74-3806
新 44	今泉総合設備	今泉 榮司	H11.12.3	桐生市相生町2-1026-11	0277-53-0181
新 48	樋口サービス	樋口 幸三	H12.3.15	桐生市新里町新川1048	0277-74-4321
新 49	(有)宮崎総合設備	宮崎 忠治	H12.3.15	前橋市粕川町膳343-1	027-285-2758
新 52	石倉設備	石倉 盛夫	H12.4.14	みどり市大間々町大間々2432-1	0277-70-2270
新 53	三和設備工業(株)	荻原 邦一	H12.4.14	伊勢崎市市場町1-56	0270-62-0102
新 55	(有)高和エンジニアリング	高橋 和雄	H12.6.12	みどり市大間々町大間々469	0277-73-3884
新 57	高橋設備工業(有)	高橋 一由	H12.8.17	前橋市富士見町時沢2984-1	027-288-6097
新 58	川島設備	川島 保規	H12.8.17	みどり市大間々町浅原207-6	0277-73-2665
新 61	大竹設備(有)	大竹 進	H12.8.17	伊勢崎市富塚町302-6	0270-32-0161
新 62	周東設備	周東 龍夫	H12.10.16	前橋市粕川町月田1280-2	027-285-2496
新 63	荒木設備	荒木 一夫	H12.10.16	太田市新田木崎町765	0276-56-5582
新 65	関口設備工業	関口 務	H12.10.16	伊勢崎市境下湊名2835-1	0270-76-3801
新 66	大川建設(株)	大川 弘志	H12.10.16	桐生市新里町小林47	0277-74-8231
新 67	(有)三栄設備	金井 健	H12.10.16	前橋市天川大島町322	027-224-4897
新 68	小林設備(有)	小林 文雄	H12.12.14	前橋市富士見町時沢2585	027-288-2755
新 69	木村設備	木村 茂	H13.2.16	伊勢崎市田部井町3-1946-8	0270-62-5657
新 70	(有)高草木設備	高草木 豊	H13.2.16	みどり市大間々町大間々467-11	0277-72-3217
新 72	高橋水道設備	高橋 文夫	H13.4.16	前橋市江木町1075-26	027-269-0339
新 75	品川設備	品川 利雄	H13.4.16	前橋市粕川町深津甲377	027-285-3829
新 76	須藤商事(株)	須藤 光男	H13.4.16	前橋市泉沢町1138-7	027-268-1307
新 77	野中設備(株)	猪熊 一仁	H13.6.15	前橋市上泉町1267番地の3	027-269-8564
新 78	(株)六本木工務店	六本木 良二	H13.6.15	前橋市柏倉町1645	027-283-4326
新 79	(有)松原電化設備	松原 功男	H13.6.15	伊勢崎市国定町一丁目1240番地16	0270-62-1534
新 85	(有)宮一設備	宮一 英明	H13.12.17	高崎市根小屋町2077-1	027-325-1817
新 87	(有)井川商店	井川 清	H14.2.19	前橋市粕川町西田面52-3	027-285-2162
新 88	塚本建設(株)	塚本 隆福	H14.4.17	桐生市新里町新川298-1	0277-74-0987
新 89	(有)津久井設備	津久井 久嘉	H14.4.17	伊勢崎市国定町1-145-2	0270-62-3006
新 92	長壁建設(株)	長壁 留二郎	H14.6.19	前橋市西片貝町1-294-2	027-231-6007
新 95	中部総合開発(株)	渡辺 幸男	H14.8.22	桐生市新里町新川147	0277-74-1398
新 98	(有)美馬工業	馬場 和美	H14.12.16	伊勢崎市東上之宮町102-2	0270-21-4933
新 99	(有)山口設備	山口 裕之	H15.2.17	邑楽郡邑楽町石打1482-1	0276-70-9070
新 100	(株)石川建設工業	石川 治郎	H15.4.22	桐生市新里町新川3585	0277-74-1234
新 103	高野設備興業	高野 博行	H15.8.18	前橋市城東町4-21-8	027-232-4911
新 104	(有)ハナワ	塙 博	H15.12.22	太田市由良町610-2	0276-32-0617
新 105	星野設備工業(有)	星野 武	H16.2.17	渋川市北橋町小室648	0279-52-3275
新 107	斉藤設備	斉藤 秀樹	H16.3.12	桐生市境野町7-1821-10	090-2544-3061
新 109	(株)三国	小野里 等	H16.4.5	前橋市山王町1-14-12	027-267-0019
新 110	工藤工業(株)	工藤 誠	H16.5.10	高崎市貝沢町508-3	027-362-7257
新 111	埼玉設備工業(株)	森崎 賢治	H16.5.17	埼玉県熊谷市三ヶ尻156	048-532-5765
新 112	永田商事(株)	永田 彰信	H16.7.20	藤岡市鬼石522	0274-52-2051
新 114	タカヨシ設備	高草木 一芳	H16.8.26	みどり市東町神戸562-2	0277-97-3102
新 115	(有)矢島設備	矢島 岳次	H16.9.29	伊勢崎市本関町1183-2	0270-24-5840
新 116	(有)塚越住設	塚越 康夫	H17.1.24	高崎市箕郷町生原1983-13	027-371-5850
新 118	へんみ設備	逸見 昇	H17.3.25	埼玉県児玉郡美里町大字沼上85-2	0495-76-4120

新	119	(有)三輪水道工事店	三輪 進	H17.4.7	みどり市笠懸町阿左美3709	0277-76-2541
新	120	天沼設備	天沼 俊一	H17.5.20	桐生市新里町山上296-3	0277-74-0216
黒	4	館野燃料(株)	館野 忠義	R2.9.30	邑楽郡大泉町城之内2-12-18	0276-62-3939
黒	19	(有)八木設備	八木 敏幸	H12.3.9	佐波郡玉村町樋越472-1	0270-65-2983
黒	25	(有)東サワー設備	木村 隆	H12.6.26	みどり市東町荻原172	0277-97-2329
黒	27	吉田設備工業	吉田 良夫	H12.10.16	館林市赤生田町2278-4	0276-73-3864
黒	31	吉野設備(有)	吉野 綾男	H13.5.28	沼田市利根町日向南郷117	0278-54-8236
黒	41	ケイ・トップ	小島 俊夫	H16.8.3	みどり市大間々町大間々2058-9	0277-73-6200
黒	43	(株)東毛管理	藤田 宗次郎	H17.3.2	桐生市相生町5-741	0277-52-4724
	1	星野管工(株)	星野 尚香	R2.9.30	桐生市広沢町5-1449	0277-54-4005
	2	桐生水道(株)	秋山 義則	R2.9.30	桐生市錦町1-5-8	0277-44-4720
	9	大高工業所	大高 正巳	R2.9.30	桐生市境野町6-1643-9	0277-44-5198
	10	須田設備(株)	須田 一三	R2.9.30	桐生市境野町7-1813-25	0277-45-0884
	11	(有)タナベ工業所	田辺 珠枝	R2.9.30	桐生市末広町1-6	0277-22-2751
	12	(有)青葉設備	亀田 剛	R2.9.30	桐生市堤町3-7-27	0277-22-7087
	13	大澤工業所	大澤 博康	R2.9.30	桐生市東5-4-28	0277-45-1067
	14	(有)青木住設	青木 茂	R2.9.30	桐生市広沢町5-1969-1	0277-54-9534
	15	(有)阿部水道	阿部 勝一郎	R2.9.30	桐生市相生町5-444-2	0277-54-9036
	17	(有)マルキン	金子 均	R2.9.30	桐生市錦町2-13-23	0277-44-6622
	18	杉戸水道	杉戸 博	R2.9.30	桐生市宮本町4-9-40	0277-22-7041
	21	新井住宅設備(株)	新井 彰	R2.9.30	桐生市相生町1-621-17	0277-53-1185
	22	西原設備工業	西原 健策	R2.9.30	桐生市広沢町間ノ島389-3	0277-54-8488
	23	(株)キンケン	星野 元彦	R2.9.30	桐生市相生町2-588-59	0277-52-8111
	25	(株)エクセル	金子 一男	R2.9.30	桐生市川内町3-349-1	0277-65-5736
	29	ウツミ工業(株)	内海 とも子	R2.9.30	桐生市相生町3-199-11	0277-52-2930
	31	(有)図子田設備	図子田 栄	R2.9.30	桐生市広沢町1-2890-6	0277-53-1216
	33	(株)三峰設備	田村 大介	R2.9.30	桐生市川内町3-386-1	0277-65-5505
	34	(株)大下総合	湯淺 桂子	R2.9.30	桐生市相生町1-317-9	0277-52-5481
	36	下山設備	下山 行男	R2.9.30	桐生市三吉町1-2-41	0277-44-5941
	38	(株)タカダトータルシステム	高田 聡	R2.9.30	桐生市広沢町6-271-1	0277-52-8198
	39	(有)堤設備	蛭間 秀吉	H15.1.15	桐生市堤町二丁目10番9号	0277-22-8203
	40	(有)大栄設備	園田 尚貴	R2.9.30	桐生市堤町3-7-47	0277-22-8561
	41	(有)松井設備	松井 信夫	R2.9.30	桐生市琴平町7-29	0277-22-2128
	42	マルヤ設備工業(株)	丸谷 正	R2.9.30	桐生市菱町4-2358-8	0277-43-7772
	44	(有)スガサワ設備	菅澤 英雄	R2.9.30	桐生市川内町5-847	0277-65-8584
	46	両毛設備工事(株)	摂津 伸一	R2.9.30	桐生市相生町1-632-26	0277-52-5175
	51	イガワ工業(株)	井川 義明	R2.9.30	桐生市相生町5-537-5	0277-52-3571
	52	雁部設備工業(株)	雁部 守	R2.9.30	みどり市笠懸町鹿4072-5	0277-30-8012
	54	金子設備工業	金子 敏	R2.9.30	太田市藪塚町2411-5	0277-78-4512
	56	(有)石原設備	石原 達也	R2.9.30	太田市丸山町38	0276-37-1829
	59	(株)神寛	神谷 晋太郎	R2.9.30	館林市松原2-6-26	0276-74-2722
	61	(株)ビルカン	川岸 正人	R2.9.30	桐生市川内町3-150-3	0277-65-9964
	63	石原工業(株)	石原 金一郎	H11.4.8	太田市内ヶ島町858-1	0276-45-2209
	64	(有)桑原電気設備	多満井 竜司	H11.4.8	桐生市相生町2-756	0277-54-4510
	66	奥村床暖房	奥村 守	H11.4.28	桐生市川内町4-103	0277-65-9530
	68	(有)丹羽建設	丹羽 康夫	H11.5.27	桐生市相生町2-142	0277-52-5658
	69	中村設備工事	中村 稔	H11.5.27	桐生市川内町5-504-3	0277-65-8278
	71	(株)トーカイ	田中 光浩	H11.5.27	太田市下浜田町117	0276-46-5821
	74	(有)橋本設備工事	橋本 昭雄	H11.7.27	邑楽郡邑楽町大字赤堀3706番地	0276-88-4060
	75	(有)峯岸商店	峯岸 洋人	H11.7.27	邑楽郡千代田町赤岩150-2	0276-86-2876
	76	(有)太田工業	須田 正勝	H11.7.27	太田市新井町565-2	0276-45-0124
	77	(株)上州	赤石 恵一	H11.8.10	みどり市笠懸町鹿4481番地2	0277-76-2353
	78	(有)共設	橋本 秀一	H11.8.10	桐生市相生町5丁目272番地の4	0277-54-5472
	79	(有)原田設備	原田 健一	H11.9.16	みどり市大間々町大間々53-3	0277-73-3792
	81	カナイホームガス(株)	横田 俊明	H12.2.7	桐生市広沢町1-2523	0277-52-4533
	82	関口農機水道	関口 泰典	H12.2.7	伊勢崎市東町2279番地5	0270-62-0718
	84	アトリエTEN	柳沢 勝人	H12.2.7	みどり市大間々町桐原1457-8	0277-72-2251
	85	金子水道	金子 信一	H12.4.17	前橋市粕川町中61-2	027-285-2741
	86	(株)野村建設工業	野村 篤	H12.5.15	桐生市広沢町一丁目2538番地1	0277-52-8282

88	株シモダ設備工業	下田 雅史	H12.5.17	前橋市天川大島町三丁目57番地13	027-261-0578
89	(有)砂川設備	砂川 裕志	H12.5.15	邑楽郡邑楽町大字石打84	0276-56-9009
90	光ハウジング(株)	関 有司	H12.6.14	桐生市広沢町2-2971	0277-54-5739
91	(株)北村土木	清水 麻美	H12.6.14	桐生市相生町二丁目85-2	0277-54-8891
92	新里設備工業(株)	篠原 敏	H12.9.6	桐生市新里町鶴ヶ谷53番地	0277-74-0360
93	福田設備	福田 茂	H12.9.20	太田市藪塚町729-1	0277-78-2187
94	清水水道	清水 隆行	H12.11.2	みどり市笠懸町鹿2931	0277-76-2017
95	(株)エム・エス・ケー	松原 香	H12.12.20	伊勢崎市日乃出町703-5	0270-30-3456
96	プラン・A	新井 重雄	H13.2.21	桐生市相生町3-653-16	0277-52-4842
97	(有)須田設備工業	須田 道子	H13.2.21	伊勢崎市田部井町1-930-1	0270-62-2349
99	宮地管工(株)	宮地 秀典	H13.3.22	前橋市三俣町1-45-26	027-224-2362
100	(株)シナノヤ	高橋 信男	H13.3.30	太田市大原町598	0277-78-2513
102	(株)三陽住建	竹内 千枝子	H13.6.1	桐生市広沢町4丁目1976番地50	0277-52-7655
105	石原工業	石原 武	H13.7.6	桐生市川内町5-99-9	0277-65-6131
106	(有)本間	本間 豊久	H13.7.17	伊勢崎市上田町178-1	0270-63-1307
107	山川設備	山川 晃	H13.7.26	桐生市相生町三丁目204番地の4	0277-54-8668
108	小保方アクトプランニング	小保方 正人	H13.8.7	みどり市大間々町大間々151-2	0277-73-5087
109	藤沼工務店	藤沼 富夫	H13.9.7	桐生市新里町関436	0277-74-1320
110	半田設備	半田 茂幸	H13.9.21	太田市藪塚町1591	0277-78-2697
112	ウォーターテクノ企画	深澤 正	H13.12.14	桐生市相生町5-623-2	0277-54-7477
113	阿部農機販売	阿部 清	H14.1.11	太田市新田村田町443	0276-57-0313
114	山下設備	山下 吉人	H14.1.22	太田市末広町518-11	0276-38-4567
115	大協ハウス(株)	吉田 大一郎	H14.1.22	前橋市富士見町原之郷1182-2	027-288-4004
116	(有)茂木設備	茂木 勝夫	H14.3.29	太田市大原町1168-5	0277-78-2239
119	(株)イシイ設備	石井 健司	H14.5.21	桐生市川内町1丁目255-8	0277-65-6823
120	大澤設備	大澤 長二	H14.6.13	みどり市大間々町浅原207-1	0277-73-3841
121	(株)峯岸建工	峯岸 久雄	H14.6.24	桐生市梅田町1丁目260番地の1	0277-32-1073
122	サワリゾート(株)群馬支社	多賀 道正	H14.6.24	高崎市中尾町17-1	027-255-2615
123	(有)内外設備工業	島田 和仁	H15.1.17	伊勢崎市茂呂町2-2848-1	0270-24-4866
124	吉田設備工業	吉田 和義	H15.2.20	桐生市新里町新川198-3	0277-70-2355
125	福島工業(株)	福島 一哉	H15.5.6	前橋市総社町高井68-1	027-251-6672
126	馬場建設	馬場 康治	H15.5.16	みどり市笠懸町鹿2612-10	0277-76-8540
127	第一電設(株)	堀口 晃	H15.6.30	前橋市北代田町697	027-231-1598
128	美建住宅(株)	大美賀 孝	H15.8.4	伊勢崎市中央町23-6	0270-23-1261
129	(有)松井電管	松井 正嘉	H15.8.12	みどり市笠懸町西鹿田223-1	0277-76-7682
130	(株)矢島	矢島 昇	H15.8.20	太田市大原町659-3	0277-78-2727
131	(有)浜野管工設備	濱野 浩志	H15.10.8	館林市北成島町1815-11	0276-74-3231
132	(有)エムテック	礮野 昌弘	H16.1.21	前橋市南町4-41-2	027-221-1120
133	中島設備	中島 進	H16.2.9	桐生市相生町5-591-3	0277-54-5262
137	天笠工業(株)	天笠 博	H16.3.18	館林市富士見町8-25	0276-72-4731
138	オール機工建築事務所	松島 寛夫	H16.4.21	桐生市川内町1-493-1	0277-65-7685
139	栗原設備	栗原 明彦	H16.4.21	太田市武蔵島町399-1	0276-52-2673
140	和田設備工事(株)	和田 喜久治	H16.5.20	太田市藪塚町2008	0277-78-6778
141	(有)八山工業所	上野 哲司	H16.8.6	太田市内ヶ島町721-1	0276-45-4705
142	神岡工業(株)	高田 佳弘	H16.8.12	太田市鳥山上町1464-9	0276-40-5411
144	(株)ホクト工業	北爪 献悟	H16.11.16	前橋市駒形町939-1	027-266-1560
145	細野水道設備	細野 久嗣	H16.11.29	北群馬郡榛東村広馬場508-2	0279-54-7934
146	塚島電機	塚島 健男	H16.12.7	佐野市高橋町1979-1	0283-23-4055
148	(有)金子設備	金子 敏行	H16.12.24	みどり市大間々町浅原1677	0277-73-2032
149	栗原管工	栗原 征之	H17.1.18	桐生市東2-7-12	0277-46-0652
152	(有)高田機設	高田 宏	H17.3.4	桐生市広沢町4-1896-18	0277-53-4646
153	セイコウ	星野 浩	H17.3.25	桐生市川内町3-718-2	0277-65-5377
154	(有)大家設備	大家 進	H17.3.30	前橋市国領町2-6-7	027-234-3888
155	(株)ダイキョー	吉澤 和男	H17.3.30	前橋市上泉町667-3	027-260-6556
156	丹羽設備	丹羽 功	H17.4.27	桐生市広沢町3-3531	0277-54-5751
158	五常工業(株)	原 丈一	H17.6.27	佐波郡玉村町樋越124-3	0270-64-5111
159	三和運業(有)	鏑木 健吉	H17.7.8	みどり市大間々町大間々35-7	0277-73-6060
160	赤城興産(株)	山同 輝和	H17.7.27	みどり市大間々町大間々1558-1	0277-72-3231
161	元盛建設工業(株)	齋藤 元治	H17.7.27	太田市藪塚町673	0277-78-4824

162	株尾島町清掃社	栗原 征五	H17.9.22	太田市世良田町1144-2	0276-52-0106
163	株森山建設	森山 道明	H17.10.7	太田市東矢島町1298-5	0276-46-4777
164	有相川興業	相川 道昭	H17.10.21	渋川市半田861	0279-23-4680
165	有諏訪電気商会	諏訪 喜久男	H17.11.4	みどり市笠懸町阿左美2467-7	0277-76-2207
166	群馬利水株	杉戸 利男	H17.11.30	桐生市宮本町四丁目8-12	0277-22-5372
167	オサダ設備	長田 和英	H17.11.30	みどり市笠懸町鹿85-73	0277-76-1621
168	有ケイ・アイ・エヌ	金澤 美智則	H17.11.30	高崎市問屋町1-3-9	027-364-4322
169	株須田ホームサービス	須田 善徳	H18.3.7	高崎市赤坂町80	027-322-4156
172	中谷設備	中谷 和久	H18.6.23	みどり市大間々町大間々489-10	0277-72-2701
173	有イソヤマ設備	磯山 隆男	H18.6.23	太田市藪塚町1659-3	0277-78-3431
174	有丸新設備工業	井上 尚治	H18.8.4	伊勢崎市宮子町1408番地の1	0270-25-0554
175	株カナメ	矢端 要	H18.10.25	前橋市広瀬町一丁目6番地の22	027-261-1520
176	春山設備工業株	石井 洋平	H18.11.9	太田市新島町779番地の2	0276-45-9081
177	すいどうや大新株	井上 清二	H18.11.9	みどり市笠懸町鹿4003番地4	0277-40-5217
178	東栄電工株	関口 朋克	H19.1.19	高崎市飯塚町1447番地	027-362-5836
179	群馬水道サービスセンター	西山 雅義	H19.1.29	渋川市南牧102番地	0279-24-5230
180	淵上建設	淵上 登美男	H19.2.21	太田市新田小金町5番地250	0276-57-0333
181	関東日精株	田端 直幸	H19.2.21	埼玉県児玉郡神川町大字原新田1097番地1	0495-77-3850
182	株小熊工業	小熊 康弘	H19.2.22	前橋市広瀬町一丁目9番地9	027-261-1229
183	有女塚電気商会	前 竜浩	H19.3.2	伊勢崎市境女塚225番地の1	0270-74-0216
184	鈴木産業株	鈴木 利男	H19.3.6	足利市助戸一丁目593番地	0284-42-6111
185	高崎施設工業株	関口 智正	H19.5.21	高崎市江木町82番地	027-322-2198
186	有アクア	久保 淳	H19.6.20	埼玉県本庄市小島二丁目7番25号	0495-23-2433
188	松島設備工業	松島 英男	H19.7.10	太田市世良田町1241-3	0276-52-1085
189	ヒロ設備工業	小林 祐巳	H19.7.23	伊勢崎市上諏訪町1523番地6	0270-26-4511
190	株清水工業所	清水 栄一	H19.8.31	高崎市下室田町1285番地2	027-374-1560
191	株クラシアン	鈴木 一也	H19.12.5	横浜市港北区新横浜1丁目2番地1	0270-21-4661
192	徳江設備	徳江 弘	H20.1.30	前橋市下沖町81番地	027-232-8549
193	株グミサワ設備工業	楯澤 眞理子	H20.2.13	桐生市宮本町2-5-9	0277-47-1522
194	NTY設備	堤 康弘	H20.4.2	桐生市新里町新川3612-11	0277-74-6623
196	川岸工業株	川岸 佐知世	H20.4.9	伊勢崎市境三ツ木224-10	0270-70-2470
198	株あすか設備	小林 宏一	H20.6.30	みどり市大間々町高津戸1313	0277-30-7030
199	工藤建設工業株	工藤 直實	H21.2.20	太田市大久保町125-110	0277-78-4664
200	株グローリテクノ	河野 義靖	H21.3.11	太田市新田早川町339-5	0276-60-8024
201	蒼天創業株	福地 稔	H21.8.7	太田市東長岡町1264番地1	0276-25-6210
202	株宝泉工業	澁澤 稔夫	H21.8.19	太田市藤久良町49-4	0276-31-7314
203	株貝沢設備工業	田中 良明	H21.9.16	高崎市井野町1141-1Felicit・F	027-362-3723
204	市川建設株	市川 浩也	H21.11.6	前橋市三俣町三丁目31-17	027-232-1231
205	岩崎設備	岩崎 隆夫	H21.10.14	桐生市東2丁目14-10	0277-43-2069
206	株アイダ設計	會田 貞光	H21.11.11	さいたま市大宮区桜木町2丁目286	048-726-8613
207	共栄テクノ有	岡村 廣繁	H22.2.9	太田市高林北町1156-2	0276-38-5673
208	川島工業	川島 守好	H22.3.31	伊勢崎市山王町1394-4	0270-32-2381
209	株トープパイプ	青山 峰造	H22.4.12	みどり市大間々町高津戸573-2	0277-46-7177
210	紅屋設備工業	紅屋 一也	H21.9.30	太田市台之郷町1779-7	0276-46-9018
211	有エーゼツ深谷	今井 栄司	H22.4.19	埼玉県深谷市上野台1943-3	048-572-0340
213	堤建設株	堤 博道	H22.5.7	前橋市馬場町249	027-283-4640
214	株江原工業	江原 明	H22.5.12	太田市安良岡町150	0276-25-0566
215	有セツビ三陽	鈴木 俊治	H22.6.3	前橋市横沢町723-6	027-284-0007
216	浅海設備株	浅海 昇	H22.8.9	桐生市相生町2丁目303-72	0277-54-0806
217	マサキ設備	横倉 雅樹	H22.8.19	桐生市広沢町4丁目2041-1	0277-52-3142
218	イーウォーターワークス株	金島 功児	H22.8.31	伊勢崎市曲沢町752-25	0270-27-8001
219	有内川水道設備	内川 将伯	H22.9.15	高崎市本郷町2035	027-344-5490
220	パナソニックコンシューマーマーケティング株	吉清 和芳	H23.1.11	大阪府大阪市中央区城見2丁目1番61号	03-6733-1340
221	三洋建設株	深沢 維泉	H23.2.22	桐生市相生町3丁目504-16	0277-52-4858
222	株シミズ	清水 肇	H23.4.18	桐生市相生町5丁目140-47	0277-54-6215
223	株齋藤設備	齋藤 良夫	H23.4.22	足利市利保町1-37-6	0284-41-8390
224	荻原設備株	角田 雅仁	H23.5.12	高崎市石原町1216	027-322-2281
225	株後藤設備	後藤 絹代	H23.5.12	伊勢崎市緑町17-21	0270-50-7581
226	有小林水道設備	小林 義博	H23.5.12	館林市日向町乙838	0276-73-3210

227	(株)サクライデンキ	櫻井 秀行	H23.10.4	桐生市稲荷町1-8	0277-44-4421
228	エムスタイル(有)	武笠 修一	H23.10.4	伊勢崎市馬見塚町278-1	0270-32-5356
229	飯塚設備工業(株)	飯塚 雅彦	H23.11.10	佐野市戸室町1113	0283-62-5627
230	(株)エーワン	服部 裕樹	H23.11.29	桐生市相生町2丁目921-11	0277-32-4906
232	(有)石澤設備工業	石澤 和巳	H23.12.16	前橋市富士見町小沢168-2	027-288-4793
233	丸山設備	丸山 昌也	H23.12.27	太田市新田上江田町400-1	0276-56-1172
234	(有)江木水道設備	星野 真一	H24.4.5	前橋市荻窪町小沢1206	027-269-0114
236	大川水道工業所	大川 純司	H24.4.9	桐生市浜松町1-1-8	0277-44-6335
238	石井管工設備	石井 寛	H24.7.12	みどり市笠懸町阿左美2683-6	0277-76-4034
239	内田ポンプ店	内田 敏夫	H24.8.22	邑楽郡大泉町仙石2丁目3-1	0276-62-2810
240	(有)太田設備	太田 克己	H24.11.28	太田市新野町935-2	0276-31-5399
241	富士産業(株)	作村 直人	H24.12.12	東京都葛飾区金町5丁目26-10	0270-40-6955
242	(株)イースマイル	島村 禮孝	H24.12.25	大阪府大阪市中央区瓦屋町3-7-3イースマイルビル	06-7739-2525
243	(株)大澤エンジニアリング	大澤 宗幸	H25.2.1	桐生市新里町武井629-85	0277-74-1620
244	チシマ住設	千嶋 義浩	H25.2.1	桐生市境野町2-1455-7	0277-43-5160
245	高峰水道工業所	高峰 一憲	H25.2.1	桐生市美原町4-7	0277-44-7081
246	(有)新成建設	松島 進	H25.2.1	本庄市下野堂651-7	0495-24-3574
248	(株)松崎建築	松崎 正裕	H25.4.17	伊勢崎市西久保町二丁目289-8	0270-61-9800
249	鈴木風呂店	鈴木 勉	H25.5.1	桐生市堤町二丁目3-14	0277-22-0742
250	相澤工業(株)	相澤 二郎	H25.7.2	高崎市三ツ寺町1175	027-373-0062
251	(株)狩野設備	狩野 和彦	H25.9.18	前橋市西善町429	027-266-1217
252	吉田設備	吉田 祐司	H25.11.22	甘楽郡甘楽町大字白倉2323	0274-74-3478
253	アキヤマプランニング	秋山 誠	H26.5.26	桐生市広沢町5-1407-16	090-3081-8256
254	(株)三山建設	坂本 好美	H26.6.3	太田市大原町432-1	0277-40-4312
255	(株)レイチェル	田口 尚	H26.7.14	みどり市笠懸町阿左美1061-3	0277-46-8369
256	トシ設備	船戸 敏雄	H26.7.14	みどり市笠懸町鹿4176-4	0277-76-5535
257	藤岡管設(株)	設楽 岩夫	H26.7.15	藤岡市中栗須322-7	0274-22-4050
259	村岡住設	村岡 正幸	H26.11.7	桐生市相生町2-80-11	0277-46-6034
260	メイセイ設備	清水 明成	H26.12.9	桐生市広沢町4-2108-7	080-6516-2507
261	木村設備	木村 清	H26.12.9	みどり市大間々町大間々1847-10	090-1125-6566
262	藤田水道	定方 良成	H26.12.22	太田市古戸町1064-11	0276-38-3679
263	高野設備(株)	高野 敏志	H27.1.9	みどり市笠懸町阿左美2154-2	0277-77-1121
264	深澤総合設備	深澤 貴世志	H27.1.9	桐生市相生町5-669-17	0277-54-7477
265	(有)藤光電機	藤生 一男	H27.2.13	みどり市笠懸町阿左美2467-1	0277-76-2291
266	(有)小林電器商会	小林 利幸	H27.2.19	桐生市天神町3-6-12	0277-22-6203
267	(株)上州 桐生支店	赤石 恵一	H27.3.6	桐生市相生町3-350-7	0277-52-3000
269	(株)MSフィールド	増田 秀浩	H27.8.11	さいたま市西区指扇領別所366-7	048-621-3535
270	ヤマザキ設備	山崎 君明	H27.9.18	みどり市大間々町桐原290-2	0277-73-5586
271	小倉設備	小倉 秀明	H27.10.7	みどり市大間々町塩沢256-5	0277-73-2075
272	三菱電機システムサービス(株)	佐久目 誠記	H27.11.6	東京都世田谷区太子堂4-1-1	03-5431-7750
273	(株)シー・アール・エス	吉田 数也	H27.12.25	足利市葉鹿町147-2	0284-62-5551
274	(有)高瀬工業	高瀬 実	H28.4.7	利根郡昭和村川額1013	0278-24-6232
275	(株)スナガ	須永 聡介	H28.4.19	みどり市大間々町大間々1757-4	0277-73-2711
276	堤工業(株)	堤 一夫	H28.5.13	みどり市笠懸町西鹿田1321-2	0277-76-4847
277	林設備	林 美保	H28.5.30	前橋市粕川町込皆戸75-7	027-285-4070
278	(株)セキダイ	関口 茂樹	H28.7.12	桐生市稲荷町3-41	0277-47-6411
279	(株)桐設	吉原 達也	H28.7.25	桐生市宮本町1-7-12	0277-43-7874
280	(株)アクアライン	大垣内 剛	H28.8.12	広島県広島市中区上八丁堀8-8	082-502-6644
281	(株)Achieam	今泉 攻一	H29.2.27	桐生市相生町5-2086-3	0277-46-7310
282	C&M	阿久津 大	H29.9.11	太田市本町28-38-1	0276-55-5106
283	ケアライフ(株)	神生 哲男	H29.9.11	桐生市菱町2-1788-3	0277-43-1330
284	小林興業(株)	小林 英彰	H29.9.21	太田市緑町1965	0276-37-6068
285	(有)内田設備工業	内田 靖彦	H29.9.29	前橋市下細井町824-1	027-233-2739
286	(株)田中設備	田中 直樹	H29.10.23	桐生市相生町5-344-1	0277-51-4644
287	遠坂建設	遠坂 直久	H29.11.8	みどり市笠懸町鹿2575-4	0277-76-3361
288	浅香設備サービス(有)	浅香 實	H29.12.1	足利市新宿町778-3	0284-73-2203
289	プラスK設備	木暮 和行	H29.12.11	太田市大原町1889-11	0277-47-6370
290	星野設備	星野 義行	H30.1.31	みどり市大間々町桐原968-2	0277-32-3516
291	(株)福富	赤石 富男	H30.2.9	前橋市粕川町上東田面261-5	027-285-6771

292	(株)大垣設備	大垣 和久	H30.2.9	栃木県佐野市岩崎町765-1	0283-61-0225
293	(株)PEAKS	峰川 潤	H30.2.15	前橋市総社町3-7-13	027-288-0090
294	(株)坂井住設	坂井 真二	H30.3.30	埼玉県児玉郡美里町大字白石1452-16	0495-76-4833
295	(株)セイワ	石原 秀人	H30.6.12	邑楽郡板倉町大字岩田792	090-2176-7647
297	(株)交換できるくん	栗原 将	H30.9.11	東京都渋谷区東1-26-20東京建物東渋谷ビル12F	03-6427-5381
298	hangover	黒石 大介	H30.12.21	前橋市下細井町323-9	090-8807-4838
299	(株)シンエイ	木原 朗広	H31.4.23	大阪府大阪市中央区谷町2-4-3アイエスビル9F	06-6944-7797
300	(株)鈴木設備工業	鈴木 勇治	R1.11.13	伊勢崎市田部井町2-1268-3	0270-62-7932
301	大和商工(株)	須郷 弘	R2.1.20	高崎市下豊岡町905-7	027-387-0707
302	ミヤシロ設備(株)	宮代 実	R2.3.3	太田市新田市野井町660-6	0276-57-5230
303	アスプレ(株)	山崎 直人	R2.4.2	前橋市野中町95-2	027-289-4170
304	(株)高橋設備	高橋 誠	R2.6.12	みどり市笠懸町西鹿田84	0277-76-0998
305	森設備株式会社	森 弘光	R2.9.17	行田市長野五丁目16番地1	048-556-2300
306	株式会社エヌ・エス・シー	瀬川 良太	R2.10.21	東京都新宿区西新宿2丁目6-1 新宿住友ビル19階	0276-60-1511
307	(有)サービスショップコア	神生 哲男	R2.11.5	桐生市菱町2-1788-3	0277-43-1332
308	藤管工株式会社	藤生 浩貴	R3.2.17	栃木県足利市緑町二丁目8番2号	0284-20-1811
309	森水道	森 武志	R3.2.25	みどり市笠懸町阿左美3711番地1	090-4727-9685

V. 財 務 の 概 況

1. 収益的収入及び支出 (消費税及び地方消費税込)

収 入						
区 分	2			元		
	予 算 額	決 算 額	予算に比べ決算額の増減	予 算 額	決 算 額	予算に比べ決算額の増減
水道事業収益	2,250,542,000	2,354,479,632	103,937,632	2,273,166,000	2,308,884,092	35,718,092
営業収益	2,023,523,000	2,066,260,420	42,737,420	2,033,909,000	2,038,725,024	4,816,024
営業外収益	227,017,000	288,219,212	61,202,212	239,255,000	270,038,108	30,783,108
特別利益	2,000	0	△ 2,000	2,000	120,960	118,960

支 出						
区 分	2			元		
	予 算 額	決 算 額	不 用 額	予 算 額	決 算 額	不 用 額
水道事業費	2,020,578,000	1,898,035,698	122,542,302	2,001,768,000	1,838,383,218	163,384,782
営業費用	1,918,882,000	1,809,738,996	109,143,004	1,896,898,000	1,748,631,028	148,266,972
営業外費用	91,495,000	85,355,704	6,139,296	94,668,000	89,122,726	5,545,274
特別損失	201,000	2,940,998	△ 2,739,998	779,000	629,464	149,536
予備費	10,000,000	0	10,000,000	9,423,000	0	9,423,000

2. 資本的収入及び支出 (消費税及び地方消費税込)

収 入						
区 分	2			元		
	予 算 額	決 算 額	予算に比べ決算額の増減	予 算 額	決 算 額	予算に比べ決算額の増減
資本的収入	661,198,000	654,073,046	△ 7,124,954	642,179,000	539,696,125	△ 102,482,875
企業債	604,000,000	604,000,000	0	600,000,000	496,000,000	△ 104,000,000
負担金	8,866,000	11,071,159	2,205,159	13,902,000	15,105,437	1,203,437
出資金	20,017,000	20,015,887	△ 1,113	18,439,000	18,437,888	△ 1,112
固定資産売却代金	1,000	0	△ 1,000	1,000	0	△ 1,000
工事負担金	22,814,000	11,836,000	△ 10,978,000	7,200,000	7,515,800	315,800
国庫補助金	5,500,000	7,150,000	1,650,000	2,637,000	2,637,000	0

支 出								
区 分	2				元			
	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額
資本的支出	3,402,676,630	3,083,702,018	3,520,000	315,454,612	3,692,858,110	2,703,226,776	888,698,630	100,932,704
建設改良費	3,115,265,630	2,801,291,445	3,520,000	310,454,185	3,418,473,110	2,433,841,971	888,698,630	95,932,509
企業債償還金	281,563,000	281,562,943	0	57	269,385,000	269,384,805	0	195
国庫補助金返還金	848,000	847,630	0	370	0	0	0	0
予備費	5,000,000	0	0	5,000,000	5,000,000	0	0	5,000,000

3. 比較損益計算書

(消費税及び地方消費税抜)

科目	令和2年度決算額		令和元年度決算額		2年度と元年度の比較増減		平成30年度決算額		2年度と30年度の比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率	金額	構成比	金額	比率
	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%
水道事業収益	2,056,860,915	100.0	2,052,368,262	100.0	4,492,653	0.2	2,101,667,007	100.0	△44,806,092	△2.1
営業収益	1,879,614,762	91.4	1,876,946,397	91.5	2,668,365	0.1	1,925,576,855	91.6	△45,962,093	△2.4
給水収益	1,842,802,738	89.6	1,843,924,272	89.9	△1,121,534	△0.1	1,887,356,296	89.8	△44,553,558	△2.4
加入金	22,190,000	1.1	22,510,000	1.1	△320,000	△1.4	23,075,000	1.1	△885,000	△3.8
その他の営業収益	14,622,024	0.7	10,512,125	0.5	4,109,899	39.1	15,145,559	0.7	△523,535	△3.5
営業外収益	177,246,153	8.6	175,309,865	8.5	1,936,288	1.1	175,936,641	8.4	1,309,512	0.7
受取利息	737,947	0.0	1,607,826	0.1	△869,879	△54.1	2,990,580	0.1	△2,252,633	△75.3
他会計補助金	4,637,432	0.2	4,718,982	0.2	△81,550	△1.7	5,499,011	0.3	△861,579	△15.7
長期前受金戻入	91,505,238	4.5	94,964,652	4.6	△3,459,414	△3.6	95,571,627	4.6	△4,066,389	△4.3
雑収益	80,365,536	3.9	74,018,405	3.6	6,347,131	8.6	71,875,423	3.4	8,490,113	11.8
特別利益	0	0.0	112,000	0.0	△112,000	—	153,511	0.0	△153,511	—
過年度損益修正益	0	0.0	112,000	0.0	△112,000	—	153,511	0.0	△153,511	—
水道事業費	1,825,119,042	100.0	1,775,798,670	100.0	49,320,372	2.8	1,778,535,788	100.0	46,583,254	2.6
営業費用	1,736,816,000	95.2	1,686,080,207	95.0	50,735,793	3.0	1,687,175,709	94.9	49,640,291	2.9
原水及び浄水費	446,125,002	24.4	436,287,868	24.6	9,837,134	2.3	436,160,058	24.5	9,964,944	2.3
配水及び給水費	254,592,020	14.0	259,991,017	14.6	△5,398,997	△2.1	279,644,931	15.7	△25,052,911	△9.0
業務費	139,773,546	7.7	128,953,531	7.3	10,820,015	8.4	120,491,603	6.8	19,281,943	16.0
総係費	205,654,356	11.3	136,198,076	7.7	69,456,280	51.0	128,572,461	7.3	77,081,895	60.0
減価償却費	675,457,669	37.0	708,394,506	39.9	△32,936,837	△4.6	715,306,171	40.2	△39,848,502	△5.6
資産減耗費	15,213,407	0.8	16,255,209	0.9	△1,041,802	△6.4	7,000,485	0.4	8,212,922	117.3
営業外費用	85,368,152	4.6	89,135,057	5.0	△3,766,905	△4.2	90,809,671	5.1	△5,441,519	△6.0
支払利息及び企業債取扱諸費	84,528,737	4.6	88,330,566	5.0	△3,801,829	△4.3	90,342,351	5.1	△5,813,614	△6.4
雑支出	839,415	0.0	804,491	0.0	34,924	4.3	467,320	0.0	372,095	79.6
特別損失	2,934,890	0.2	583,406	0.0	2,351,484	403.1	550,408	0.0	2,384,482	433.2
過年度損益修正損	2,899,037	0.2	575,756	0.0	2,323,281	403.5	550,408	0.0	2,348,629	426.7
固定資産譲渡損	35,853	0.0	7,650	0.0	28,203	—	0	0.0	35,853	—
当年度純利益	231,741,873	—	276,569,592	—	△44,827,719	△16.2	323,131,219	—	△91,389,346	△28.3
その他未処分利益剰余金変動額	1,711,106,361	—	592,812,185	—	1,118,294,176	—	0	—	1,711,106,361	—

4. 比較貸借対照表

(消費税及び地方消費税抜)

科目	年度別		令和2年度決算額		令和元年度決算額		2年度と元年度の比較増減		平成30年度決算額		2年度と30年度の比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率	金額	構成比	金額	比率
	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%
1. 固定資産												
(1) 有形固定資産												
イ 土地	632,888,199	2.3	631,854,052	2.3	1,034,147	0.2	631,861,702	0.2	1,026,497	0.2		
ロ 立木	5,985,341	0.0	5,985,341	0.0	0	0.0	5,985,341	0.0	0	0.0		
ハ 建物	879,610,067	3.1	475,824,091	1.7	403,785,976	84.9	502,436,695	84.9	377,173,372	75.1		
ニ 構築物	14,859,489,953	53.1	11,416,916,960	41.5	3,442,572,993	30.2	11,511,658,736	41.9	3,347,831,217	29.1		
ホ 機械及び装置	4,194,427,021	15.0	1,659,823,277	6.0	2,534,603,744	152.7	1,678,612,611	6.1	2,515,814,410	149.9		
ヘ 車両運搬具	3,690,102	0.0	4,651,139	0.0	△961,037	△20.7	6,068,720	0.0	△2,378,618	△39.2		
ト 工具器具及び備品	40,035,583	0.2	39,242,194	0.2	793,389	2.0	39,298,821	0.2	736,762	1.9		
チ リース資産	0	0.0	955,122	0.0	△955,122	△100.0	1,910,243	0.0	△1,910,243	△100.0		
リ 建設仮勘定	61,740,072	0.2	7,693,510,111	28.0	△7,631,770,039	△99.2	6,033,378,269	22.0	△5,971,638,197	△99.0		
有形固定資産合計	20,677,866,338	73.9	21,928,762,287	79.7	△1,250,895,949	△5.7	20,411,211,138	74.3	266,655,200	1.3		
(2) 無形固定資産												
イ 電話加入権	805,340	0.0	805,340	0.0	0	0.0	805,340	0.0	0	0.0		
ロ ダム使用権	3,151,902,915	11.3	12,321,293	0.0	3,139,581,622	25,480.9	13,480,222	0.1	3,138,422,693	23,281.7		
ハ 施設利用権	0	0.0	0	0.0	0	—	0	0.0	0	#DIV/0!		
ハ リース資産	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.0	△2	△100.0		
無形固定資産合計	3,152,708,255	11.3	13,126,633	0.0	3,139,581,622	23,917.6	14,285,564	0.1	3,138,422,691	21,969.2		
固定資産合計	23,830,574,593	85.2	21,941,888,920	79.7	1,888,685,673	8.6	20,425,496,702	74.4	3,405,077,891	16.7		
2. 流動資産												
(1) 現金預金	3,810,055,156	13.6	5,254,610,717	19.1	△1,444,555,561	△27.5	6,743,625,191	24.6	△2,933,570,035	△43.5		
(2) 未収金	333,947,924	1.2	320,413,530	1.2	13,534,394	4.2	273,828,397	1.0	60,119,527	22.0		
(3) 貯蔵品	9,882,081	0.0	9,955,711	0.0	△73,630	△0.7	9,520,500	0.0	361,581	3.8		
(4) その他の流動資産	3,500,000	0.0	3,500,000	0.0	0	0.0	3,500,000	0.0	0	0.0		
流動資産合計	4,157,385,161	14.8	5,588,479,958	20.3	△1,431,094,797	△25.6	7,030,474,088	25.6	△2,873,088,927	△40.9		
資産合計	27,987,959,754	100.0	27,530,368,878	100.0	457,590,876	1.7	27,455,970,790	100.0	531,988,964	1.9		

(消費税及び地方消費税抜)

科目	年度別		令和2年度決算額		令和元年度決算額		2年度と元年度の比較増減		平成30年度決算額		2年度と30年度の比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率	金額	構成比	金額	比率
	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%
3. 固定負債												
(1) 企業債	6,222,864,779	22.2	5,930,946,500	21.6	291,918,279	4.9	5,716,509,443	20.8	506,355,336	8.9		
(2) リース債務	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	#DIV/0!		
(2) 引当金	724,760,994	2.6	689,683,113	2.5	35,077,881	5.1	775,845,116	2.8	△51,084,122	△6.6		
固定負債合計	6,947,625,773	24.8	6,620,629,613	24.1	326,996,160	4.9	6,492,354,559	23.6	455,271,214	7.0		
4. 流動負債												
(1) 企業債	312,081,721	1.1	281,562,943	1.0	30,518,778	10.8	269,384,805	1.0	42,696,916	15.8		
(2) リース債務	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	#DIV/0!		
(3) 未払金	134,031,937	0.5	221,213,252	0.8	△87,181,315	△39.4	504,018,379	1.9	△369,986,442	△73.4		
(4) 引当金	22,608,000	0.1	25,786,000	0.1	△3,178,000	△12.3	26,432,000	0.1	△3,824,000	△14.5		
(5) その他流動負債	5,094,864	0.0	5,285,812	0.0	△190,948	△3.6	13,190,854	0.0	△8,095,990	△61.4		
流動負債合計	473,816,522	1.7	533,848,007	1.9	△60,031,485	△11.2	813,026,038	3.0	△339,209,516	△41.7		
5. 繰延収益												
(1) 長期前受金												
イ 受贈財産評価額	314,486,755	1.1	329,287,844	1.2	△14,801,089	△4.5	346,919,593	1.2	△32,432,838	△9.3		
ロ 工事寄附金	318,470	0.0	339,244	0.0	△20,774	△6.1	360,018	0.0	△41,548	△11.5		
ハ 他会計負担金	341,660,071	1.2	346,813,898	1.3	△5,153,827	△1.5	348,128,531	1.3	△6,468,460	△1.9		
ニ 工事負担金	627,545,021	2.3	665,784,258	2.4	△38,239,237	△5.7	709,810,359	2.6	△82,265,338	△11.6		
ホ 国県補助金	1,823,150,637	6.5	1,826,067,269	6.6	△2,916,632	△0.2	1,833,230,427	6.7	△10,079,790	△0.5		
ヘ その他資本剰余金	59,547	0.0	59,547	0.0	0	0.0	59,547	0.0	0	0.0		
長期前受金合計	3,107,220,501	11.1	3,168,352,060	11.5	△61,131,559	△1.9	3,238,508,475	11.8	△131,287,974	△4.1		
繰延収益合計	3,107,220,501	11.1	3,168,352,060	11.5	△61,131,559	△1.9	3,238,508,475	11.8	△131,287,974	△4.1		
負債合計	10,528,662,796	37.6	10,322,829,680	37.5	205,833,116	2.0	10,543,889,072	38.4	△15,226,276	△0.1		

科目	年度別		令和2年度決算額		令和元年度決算額		2年度と元年度の比較増減		平成30年度決算額		2年度と30年度の比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率	金額	構成比	金額	比率
6. 資本金	10,722,607,904	38.3	10,109,779,832	36.7	612,828,072	6.1	10,091,341,944	36.8	631,265,960	6.3		
7. 剰余金												
(1) 資本剰余金												
イ 受贈財産評価額	90,368,842	0.3	90,368,842	0.3	0	0.0	89,918,842	0.3	450,000	0.5		
ロ 工事寄附金	1,674,000	0.0	1,674,000	0.0	0	0.0	1,674,000	0.0	0	0.0		
ハ 他会計負担金	3,084,810	0.0	3,084,810	0.0	0	0.0	3,084,810	0.0	0	0.0		
ニ 工事負担金	59,437,645	0.2	59,437,645	0.2	0	0.0	59,437,645	0.2	0	0.0		
ホ 国県補助金	48,315,277	0.2	48,315,277	0.2	0	0.0	48,315,277	0.2	0	0.0		
ヘ その他資本剰余金	16,821,611	0.1	16,821,611	0.1	0	0.0	16,821,611	0.1	0	0.0		
資本剰余金合計	219,702,185	0.8	219,702,185	0.8	0	0.0	219,252,185	0.8	450,000	0.2		
(2) 利益剰余金												
イ 利益積立金	1,750,345,077	6.3	1,750,345,077	6.4	0	0.0	1,654,773,450	6.0	95,571,627	—		
ロ 災害復旧積立金	500,000,000	1.8	500,000,000	1.8	0	0.0	500,000,000	1.8	0	0.0		
ハ 建設改良積立金	2,323,793,558	8.3	3,758,330,327	13.6	△1,434,536,769	△38.2	4,123,582,920	15.0	△1,799,789,362	△43.6		
ニ 当年度未処分利益剰余金	1,942,848,234	6.9	869,381,777	3.2	1,073,466,457	123.5	323,131,219	1.2	1,619,717,015	501.3		
利益剰余金合計	6,516,986,869	23.3	6,878,057,181	25.0	△361,070,312	△5.2	6,601,487,589	24.0	△84,500,720	△1.3		
剰余金合計	6,736,689,054	24.1	7,097,759,366	25.8	△361,070,312	△5.1	6,820,739,774	24.8	△84,050,720	△1.2		
資本合計	17,459,296,958	62.4	17,207,539,198	62.5	251,757,760	1.5	16,912,081,718	61.6	547,215,240	3.2		
負債資本合計	27,987,959,754	100.0	27,530,368,878	100.0	457,590,876	1.7	27,455,970,790	100.0	531,988,964	1.9		

5. 令和2年度 企業債借入先別償還状況

(金額:消費税及び地方消費税抜)

借入先等		令和元年度末 未償還残高	令和2年度償還額			令和2年度 企業債借入高	令和2年度 未償還残高
			元金	利息	元利合計		
財 務 省	前期	円 5,393,432,614	円 92,704,816	円 34,856,276	円 127,561,092	円 604,000,000	円 5,810,956,899
	後期		円 93,770,899	円 33,935,246	円 127,706,145		
	計		円 186,475,715	円 68,791,522	円 255,267,237		
地方公共団体 金融機構	前期	円 755,375,829	円 44,240,949	円 7,966,797	円 52,207,746	円 0	円 666,354,601
	後期		円 44,780,279	円 7,427,467	円 52,207,746		
	計		円 89,021,228	円 15,394,264	円 104,415,492		
新田みどり 農業共同組合	前期	円 63,701,000	円 3,033,000	円 175,657	円 3,208,657	円 0	円 57,635,000
	後期		円 3,033,000	円 167,294	円 3,200,294		
	計		円 6,066,000	円 342,951	円 6,408,951		
合 計		円 6,212,509,443	円 281,562,943	円 84,528,737	円 366,091,680	円 604,000,000	円 6,534,946,500

※ 令和2年度の企業債借入高 604,000,000円については、前年度の繰越額に係る財源充当額 104,000,000円を含む。

- 発行総額 969,230万円
- 利 率 0.10(H27借入分)～4.75(H6借入分)
- 償還終期 令和42年度(令和43年3月1日)

VI. 経 営 ・ 財 務 分 析 表

(消費税及び地方消費税抜)

項 目	算 出 方 法	2 年 度	元 年 度	3 0 年 度	2 9 年 度	指 標
施設の効率性						
施設利用率 (%)	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	42.4	42.8	43.6	44.4	-
負荷率 (%)	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	91.6	89.9	90.0	89.0	-
最大稼働率 (%)	$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	46.3	47.6	48.4	49.8	-
損益に関する各種比較率						
総資本利益率 (%)	$\frac{\text{当年度経営利益}}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本})/2} \times 100$	0.8	1.0	1.2	1.3	↑
経営資本営業利益率 (%)	$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}} \times 100$	0.5	1.0	1.1	1.1	-
総収支比率 (%)	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	112.7	115.6	118.2	120.0	↑
経常収支比率 (%)	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	112.9	115.6	118.2	118.4	↑
営業収支比率 (%)	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	108.2	111.3	114.1	113.9	↑
営業収益営業利益率 (%)	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$	7.6	10.2	12.4	12.2	-
利子負担率 (%)	$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{企業債} + \text{借入金} + \text{リース債務}} \times 100$	1.3	1.4	1.5	1.7	↓
企業債償還元金対減価償却額比率 (%)	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$	41.7	38.0	34.7	32.6	↓
企業債償還元金対料金収入比率 (%)	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$	15.3	14.6	13.2	12.1	↓
企業債利息対料金収入比率 (%)	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	4.6	4.8	4.8	4.8	↓
企業債元利償還金対料金収入比率 (%)	$\frac{\text{企業債元利償還金}}{\text{給水収益}} \times 100$	19.9	19.4	17.9	16.9	↓
平均給与 (千円)	$\frac{\text{職員給与費 (3条)}}{\text{損益勘定所属職員数}} \div 1000$	8,876	7,174	7,584	7,327	-
労働分配率 (%)	$\frac{\text{職員給与費 (3条)}}{\text{営業収益} - \text{減価償却費}} \times 100$	22.9	19.6	21.3	22.4	↓
職員給与費対料金収入比率 (%)	$\frac{\text{職員給与費 (3条)}}{\text{給水収益}} \times 100$	14.9	12.4	13.7	14.5	↓
職員一人当り給水量 (m ³)	$\frac{\text{給水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	409,754	396,173	383,922	350,104	-
職員一人当り給水人口 (人)	$\frac{\text{給水人口}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	3,462	3,411	3,263	2,967	-

項 目		算 出 方 法	2年度	元年度	30年度	29年度	指標
損益に関する各種比較率							
職員一人当り 営業収益	(千円)	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{損益勘定所属職員数}} \div 1000$	60,633	58,655	56,635	51,485	↑
職員一人当り 有形固定資産	(千円)	$\frac{\text{期末有形固定資産}}{\text{損益勘定所属職員数} + \text{資本勘定所属職員数}} \div 1000$	574,385	592,669	523,364	456,610	↑
1万 ³ m ³ 当り 有収水量 一日	損益勘定 所属職員数 (人)	$\frac{\text{職員数 (損益勘定所属)}}{\text{年間総有収水量} \div 365 \text{日} \div 10,000\text{m}^3}$	9	9	9	10	—
	原・浄・配水 施設関係 (人)	$\frac{\text{職員数 (原水浄水費・配水給水費所属)}}{\text{年間総有収水量} \div 365 \text{日} \div 10,000\text{m}^3}$	5	5	6	6	—
	検針・集金 関係 (人)	$\frac{\text{職員数 (業務費所属)}}{\text{年間総有収水量} \div 365 \text{日} \div 10,000\text{m}^3}$	1	1	1	1	—
全 職 員	基本給(月額) (円)	$\frac{\text{給料} + \text{扶養手当}}{\text{全職員数}} \div 12$	323,633	323,549	340,766	338,271	—
	手当(月額) (円)	$\frac{\text{手当} - \text{扶養手当}}{\text{全職員数}} \div 12$	153,492	161,374	164,223	158,263	—
	平均年齢 (歳)		44	44	45	46	—
	平均勤続年数 (年)		22	21	22	24	—
資産及び資本構成比率							
固定資産構成比率 (%)		$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$	85.1	79.7	74.4	74.4	↓
固定負債構成比率 (%)		$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	24.8	24.0	23.6	23.2	↓
自己資本構成比率 (%)		$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	73.5	74.0	73.4	75.2	↑
固定資産対 長期資本比率 (%)		$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	86.6	81.3	76.7	75.6	↓
固定比率 (%)		$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}} \times 100$	115.9	107.7	101.4	98.9	↓
流動比率 (%)		$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	877.4	1,046.8	864.7	1,600.7	↑
当座比率 (%)		$\frac{\text{当座資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	874.6	1,044.3	863.1	1,597.8	↑
現金比率 (%)		$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	804.1	984.3	829.4	1,536.7	↑
給水人口一人当り 自己資本	(円)	$\frac{\text{自己資本}}{\text{給水人口}}$	191,655	186,654	181,627	176,325	—
配水量1m ³ 当り 自己資本	(円)	$\frac{\text{自己資本}}{\text{配水量}}$	1,302.79	1,276.77	1,242.96	1,204.44	—

(消費税及び地方消費税抜)

項 目	算 出 方 法	2年度	元年度	30年度	29年度	指標
回 転 率						
自己資本回転率 (回)	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本})/2}$	0.09	0.09	0.10	0.10	↑
経営資本回転率 (回)	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{経営資本}}$	0.07	0.09	0.09	0.09	—
固定資産回転率 (回)	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産})/2}$	0.10	0.13	0.13	0.13	↑
減価償却率 (%)	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産} + \text{無形固定資産} - \text{土地} - \text{立木} - \text{建設仮勘定} - \text{電話加入権} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$	2.84	4.95	4.94	4.81	↓
流動資産回転率 (回)	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産})/2}$	0.39	0.30	0.28	0.29	↑
現金預金回転率 (回)	$\frac{\text{当年度支出額}}{(\text{期首現金預金} + \text{期末現金預金})/2}$	1.14	0.75	0.54	0.42	↑
貯蔵品回転率 (回)	$\frac{\text{期首貯蔵品} + \text{当年度購入貯蔵品} + \text{当年度発生貯蔵品} - \text{期末貯蔵品}}{(\text{期首貯蔵品} + \text{期末貯蔵品})/2}$	1.90	1.91	1.99	2.21	↑
未収金回転率 (回)	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金})/2}$	9.25	9.20	9.28	9.20	↑

※指標の↑は高い方が良く、↓は低い方が良い。

※令和2年度の職員数及び職員給与費等の職員に関する数値には、会計年度任用職員分が除かれている。また、平均年齢及び平均勤続年数については、再任用短時間勤務職員と会計年度任用職員が除かれている。

財務分析において用いた用語は次のとおりである。

- 自己資本 = 資本金 + 剰余金 + 繰延収益
- 総資本 = 負債・資本合計
- 経営資本 = 負債・資本合計 - (建設仮勘定 + 投資資産)
- 総収益 = 営業収益 + 営業外収益 + 特別利益
- 総費用 = 営業費用 + 営業外費用 + 特別損失
- 経常収益 = 営業収益 + 営業外収益
- 経常費用 = 営業費用 + 営業外費用
- 当座比率 = 酸性試験比率
- 当座資産 = 現金預金 + 未収金
- 支払利息には 企業債取扱諸費 を含まない。
- 未収金回転率に用いた未収金は分子の営業収益に対応する営業未収金とした。
- 固定資産回転率に用いた固定資産は分子の営業収益に対応させるため営業活動に直接関係のない建設仮勘定を控除して計算した。
- 貯蔵品回転率には 仮払いによる入出庫 を含まない。
- 企業債償還元金には 借換のための償還金 を含まない。
- 借入金 = 他会計借入金 + 一時借入金
- 給水量には 修繕中の放水量、分水量、私設消火栓 を含まない。
- 職員一人当たり営業収益 = 労働生産性

VII. 災害時の態勢

1. 桐生市水道局防災計画に基づく給水拠点

○震災対策用飲料水貯水槽設置場所・・・川内中、相生中、桜木中、旧西中、清流中、境野中間ノ島団地2箇所、黒保根町交流促進センター
新里東小、梅田南小、菱小

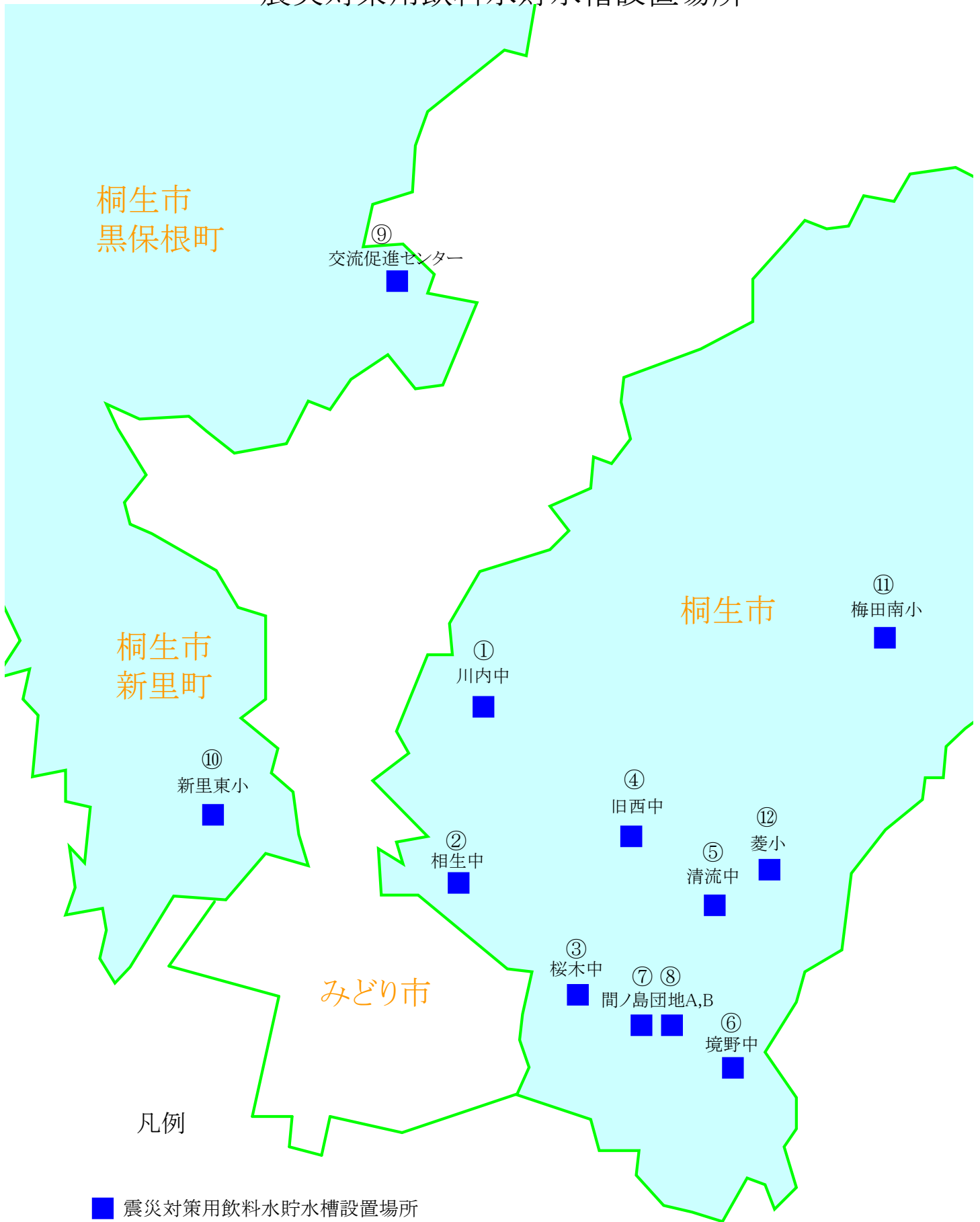
非常用飲料機器配備状況

機 器 名	購入年度	能力及び容量	数量	保管場所	配置(46°-ジ°)
震災対策用飲料水貯水槽 12基	平成7年度	50m ³	1	川内中学校	①
			1	相生中学校	②
			1	桜木中学校	③
	平成8年度		1	旧西中学校	④
			1	清流中学校	⑤
			1	境野中学校	⑥
	平成9年度	20m ³	1	間ノ島団地A	⑦
	平成10年度	60m ³	1	間ノ島団地B	⑧
	平成24年度	1m ³	1	黒保根町 交流促進センター ※黒保根支所所管	⑨
	平成26年度	50m ³	1	新里東小学校	⑩
		3m ³	1	梅田南小学校 ※教育委員会所管	⑪
		3m ³	1	菱小学校 ※教育委員会所管	⑫
給水車	平成17年度	2.0m ³	1	元宿浄水場	
給水タンク	昭和 43・44・57年度	1.0m ³	3	元宿浄水場(2) 上菱浄水場(1)	
	昭和50年度	0.4m ³	1	元宿浄水場	
	平成12年度	1.0m ³	2	新里第10配水場	
携行用浄水器	平成17年度	約400mℓ/分	6	新里第10配水場	

* ポリ容器(20リットル)については51個保有し、元宿浄水場に28個、新里第10配水場に23個保管。

* 給水袋(6リットル)については10,000枚保有し、水道局本庁内倉庫に4,000枚、元宿浄水場に5,700枚、新里支所水道係に100枚、不二山配水場に100枚、新里第10配水場に100枚保管。

震災対策用飲料水貯水槽設置場所



2. 災害時の相互応援協定等

(1) 両毛地域水道事業管理者協議会水道災害相互応援に関する協定書

この協定は、両毛地域水道事業管理者協議会(以下「協議会」という。)を構成する、桐生市、足利市、佐野市及び群馬東部水道企業団との間において水道災害時における相互応援について必要な事項を定めるものとする。

(応援の内容)

第1条 協議会が行う応援活動は、次のとおりとする。

- (1) 応急給水作業
- (2) 応急復旧作業
- (3) 応急復旧時に必要な資材の提供
- (4) 作業に必要な車両及び機械等の提供

2 協議会は、前項に定めるもののほか、特に応援要請のあった事項についても、これに応ずるよう配慮するものとする。

(応援体制の連絡)

第2条 協議会は、災害時の応援が円滑に行われるようあらかじめ連絡担当課を定め、毎年4月末日までに相互に連絡交換するものとし、応援の要請、その他の構成団体(以下「団体」という。)への連絡は、当該連絡担当課を通して行うものとする。

(応援要請)

第3条 災害時において応援を受けようとする団体は、次の事項を明らかにした文書をもって要請するものとする。ただし、緊急を要するときは、この限りでない。

- (1) 被害の状況
- (2) 第1条第1項第1号及び第2号に規定する給水量、応援の人数及び期間等
- (3) 第1条第1項第3号及び第4号に規定する品名、規格及び数量等
- (4) 応援の場所及び応援場所への経路
- (5) その他必要な事項

(応援活動)

第4条 応援を受ける団体は、対策本部を設け、その中に応援担当の責任者を置くものとする。

2 応援をする団体は、前項の責任者と密接な連携のもとに応援活動を進めるとともに、応援職員の職種及び人数等を明確にするために、応援職員等一覧表を作成し、応援を受ける団体へ送付するものとする。

(費用の負担)

第5条 第1条に規定する応援に要した費用の負担は、法令その他特別に定めがあるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 第1条第1項第1号及び第2号に規定する応援に要した費用は、応援を受けた団体の負担とする。ただし、職員の応援に要した費用(旅費・時間外勤務手当を除く。)は、応援した団体の負担とすること。
- (2) 第1条第1項第3号に規定する応援に要した費用は、応援を受けた団体の負担とすること。
- (3) 第1条第1項第4号に規定する応援に要した費用のうち応援期間中の車両及び器材の燃料費並びにこれらの修繕費は、応援を受けた団体の負担とすること。

(協定期間)

第6条 協定期間は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までとする。ただし、期間満了までに協議会いずれの団体からもなんらの意思表示がないときは、期間満了の日の翌日から1年間協定期間を延長するものとし、以後も同様とする。

(既存協定の失効)

第7条 平成18年7月11日付で桐生市、太田市、館林市、みどり市、足利市及び佐野市が締結した水道災害相互応援に関する協定は、この協定の締結日をもって、その効力を失する。

(協 議)

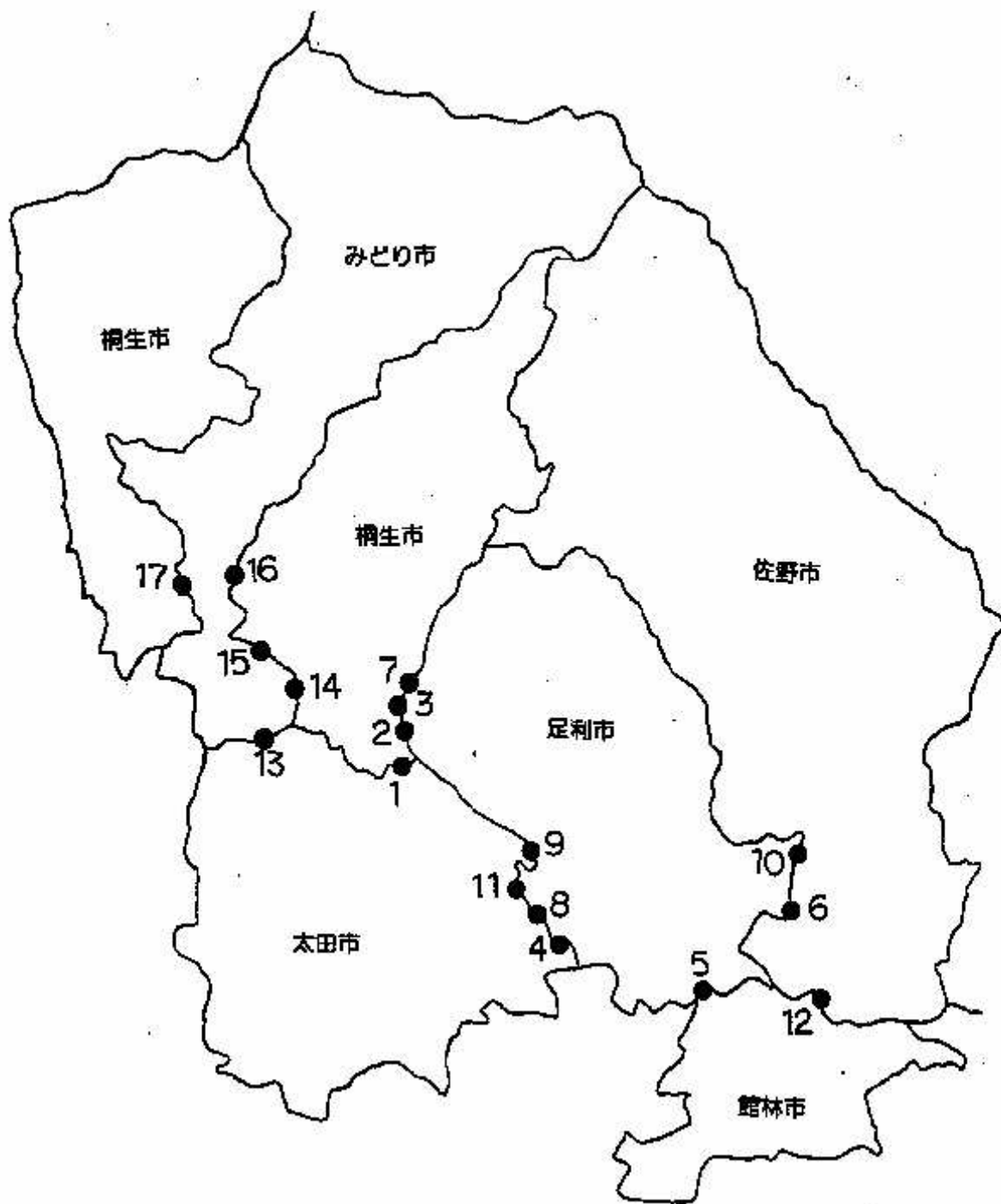
第8条 この協定の実施に関し、必要な事項は、その都度協議会が協議して定めるものとする。

上記協定締結の証として、本協定書4通を作成し、各団体の長記名押印のうえ、おのおの1通を保有する。

平成28年4月1日

桐生市長	亀山	豊文
足利市長	和泉	聡英
佐野市長	岡部	正義
群馬東部水道企業団企業長	清	水聖

両毛地域災害用水道接続管位置図



(2) 災害時における給水装置等の早期復旧協力に関する協定

(趣 旨)

第1条 この協定は、桐生市水道局(以下「甲」という。)と桐生管工事協同組合(以下「乙」という。)との間に、桐生市内に発生した地震、風水害、その他の災害及び他都市で発生した災害で桐生市が応援要請を受けたときにおいて、被災住民に飲料水を提供するための水道施設の早期復旧を目的として締結するものとする。

(協 力 要 請)

第2条 乙は、市内の災害発生時には甲の要請を待たず、被災住民に飲料水の提供が出来るよう速やかに復旧工事に取り掛かれるよう準備し、甲に連絡し待機するものとする。

2 甲は他都市で発生した災害で桐生市が応援要請を受けたときは、その災害の状況に応じ必要な人員及び資器材等を提供するよう要請することができる。

(要請の手続き)

第3条 甲が行う要請の手続きは、水道局災害対策本部が担当する。

2 要請にあつては、協力を要する期間、その他必要事項を連絡するものとする。

3 前項の期間は、災害の状況により甲が必要と認めたときは、乙と協議して延長することができる。

4 乙の連絡窓口は、理事長とする。

(早期復旧要領)

第4条 乙は、甲の要請を受けた場合は、近隣被災地区の被害状況を確認して飲料水の提供ができるよう速やかに復旧工事に着手するものとする。

2 復旧工事を受けようとする者は、乙の指示に従うものとする。

(提供する資器材等)

第5条 乙が提供する資器材等は、次のとおりとする。

(1) 給水に必要な蛇口等の諸器具等

(2) その他復旧工事に要する資器材

2 上記復旧工事に要した資器材等に係る諸経費は別途甲・乙協議して定める。

(雑 則)

第6条 この協定の実施に関し、必要な事項は甲・乙協議して定める。

(協 定 期 間)

第7条 この協定期間は、平成8年1月31日から平成9年3月31日までとする。ただし、期間満了1か月前までに甲・乙双方から何ら意思表示がないときは、期間満了の日から1年間延長するものとする。以後も同様とする。

(協定の変更)

第8条 協定の内容を変更しようとする場合は、甲・乙協議して変更協定書を取り交わすものとする。

(付 則)

この協定は、平成8年1月31日から適用する。

この協定成立を証するため、当事者記名押印のうえ、各1通を保有するものとする。

平成8年1月31日

甲 桐生市水道局
桐生市水道事業管理者

乙 桐生管工事協同組合
理事長

(3)群馬県水道災害相互応援協定

(趣旨)

第1条 この協定は、地震、異常湧水その他の水道災害において、群馬県及び県内各水道事業者(以下「会員」という。)が協力して実施する群馬県内及び他の都道府県における相互応援活動について、必要な事項を定めるものとする。

(組織構成)

第2条 災害が発生した場合の相互応援体制は、別図の組織図による。

この協定に関する事項を円滑に推進するため、県内の会員を11地区(以下「地区」という。)に分け、地区を県央、西毛、東毛の3ブロック(以下「ブロック」という。)に分ける。

2 各地区及び各ブロックには、それぞれ代表都市及び副代表都市を置く。

3 前項の地区代表都市は、群馬県の各保健福祉事務所所在市町を充て、地区副代表都市は各地区で選任する。

また、各ブロック代表都市及び各ブロック副代表都市は地区代表都市から選出し、県央ブロックについては、前橋市を代表都市とする。

4 群馬県(以下「県」という。)は、各ブロック代表都市と連携を密にし、必要ある場合は、他都道府県及び関係機関への応援要請等の連絡調整を行うものとする。

また、県は、県内及び他の都道府県において水道災害が発生し、他都道府県及び関係機関からの要請に基づき、この協定に基づく応援活動を実施する場合は、ブロック代表都市に応援協力の要請を行うものとする。

5 この協定に基づく応援活動のとりまとめ、調整、資料交換等の事務局は、群馬県保健福祉部衛生食品課が担当し、群馬県企業局と連携のもとに行う。

(応援内容)

第3条 応援活動は原則として、被災会員の応急給水及び復旧計画に基づき、その指示(様式第1号)に従って作業に従事するものとする。

2 応援活動は、おおむね次のとおりとする。

- (1) 応急給水作業
- (2) 応急復旧工事
- (3) 応急復旧用資機材の供出

3 前項第1号及び第2号の作業期間は、原則として7日以内とし、継続する場合は被災会員、応援会員及び県の協議による。

4 他の都道府県等への応援活動は、前各項に準ずるものとする。

(応援要請等)

第4条 応援要請は、原則として次の各号により行うものとする。

- (1) 被災会員は、所属する地区の代表都市へ応援を依頼する。
- (2) 地区代表都市は、地区内の他の会員に応援を要請し、さらに必要と認めるときは、ブロック代表都市に応援を要請する。
- (3) ブロック代表都市は、さらに必要と認めるときは、他のブロック代表都市に応援を要請する。
- (4) ブロック代表都市は、さらに必要と認めるときは、県へ応援を要請する。

2 応援要請を受けた会員は、極力これに応じ、応援に努めるものとする。

(応援要請の手続)

第5条 被災会員が応援要請しようとするときは、次に掲げる事項を明らかにして、電話等迅速かつ正確に伝達できる通信手段により要請し、後日速やかに文書(様式第2号及第3号)を提出するものとする。

- (1) 災害の状況
- (2) 必要とする資機材、物資等の品目及び数量
- (3) 必要とする職種別人員
- (4) 応援期間
- (5) 応援場所及び応援場所への経路
- (6) その他必要な事項

(応援体制)

第6条 応援会員が派遣する職員(以下「応援職員」という。)は、災害の状況に応じ必要な食糧、被服、資金等を携行するものとする。

2 応援職員は、応援会員等の名を表示する標識を着用するものとする。

(被応援体制)

第7条 被応援会員は、災害の状況に応じ、応援職員の宿舍の斡旋、その他必要な便宜を供与するものとする。

2 被応援会員は、資機材等の応援を受ける場合、倉庫、保管場所等を確保し、これらを管理するものとする。

(費用負担)

第8条 応援に必要な経費は、法令等に別段定めがあるものを除くほか、次のとおりとする。

- (1) 応援給水、応援復旧、応援復旧用資機材に要する費用は、被応援会員が負担する。
- (2) 応援職員の派遣に要する経費は、応援会員が負担する。
- (3) 応援職員が応援業務により負傷し、病気にかかり、又は死亡した場合における災害補償は、応援会員の負担とする。
- (4) 応援職員が業務上第三者に損害を与えた場合において、原則として、その損害が応援業務中に生じたものについては被応援会員が、また、被応援会員への往復途中に生じたものについては応援会員がその賠償の責に任ずる。

2 前項各号の定めにより難いときは、関係会員等が協議して定めるものとする。

(応援物資等の調査)

第9条 会員は応援活動を円滑に行うため、次の各号に掲げる事項を毎年5月末日までに県に提出するものとする。

- (1) 連絡担当部課等(様式第4号)
- (2) 応援資機材の保有状況(様式第5号)
- (3) 応援に従事できる職員数(様式第6号)
- (4) 水道配管等の標準施工図又はこれに準ずるもの

2 県は前項の調査票を取りまとめ、整理のうえ会員に送付するものとする。

(協議)

第10条 この協定の実施に関し必要な事項又はこの協定に定めのない事項については、その都度協議して定めるものとする。

(訓練)

第11条 会員は、この協定に基づき相互応援が円滑に行われるよう、必要に応じて訓練を実施するものとする。

(実施期日)

第12条 この協定は、平成13年2月9日から実施する。

この協定の締結を証するため、本書1通を作成し、協定者が記名押印のうえ原本を県が保有し、その写しを各事業体が保有する。

平成13年2月9日

群馬県
桐生市
ほか9市30町26村2企業団

(4) 災害時等における応援業務に関する協定書

桐生市(以下「甲」という。)と株式会社両毛ビジネスサポート(以下「乙」という。)は、地震、風水害、その他の災害等(「災害等」という。)の発生時における水道事業の応援業務について、次の通り協定を締結する。

(趣旨)

第1条 この協定は桐生市水道事業給水区域内で災害等が発生し、水道施設が被災等したとき、甲の要請に基づき乙が協力する水道事業の応援要請について、必要な事項を定めるものとする。

(協力要請)

第2条 甲は災害等発生時の応援業務について、乙に協力を要請することができる。

2 前項の規定による要請を行う場合は、応援業務の内容、日時、場所、必要な人員及び資機材等を明示した文書により行うものとする。ただし文書によることが困難なときには、口頭又は電話により協力を要請し、後日速やかに文書を送付するものとする。

3 応援業務の内容は応急給水活動その他必要に応じた人的支援とする。

(協力)

第3条 乙は前条の規定による要請を受けたときは速やかに応援業務について協力するものとする。

(現場指揮等)

第4条 甲は応援業務に関し、必要な現場指揮等を行うものとする。

(事前準備)

第5条 乙は甲の協力要請に速やかに対処できるよう、社員の動員体制、資機材等の保有状況等を把握しておくものとする。

(費用負担)

第6条 応援業務に要した費用の負担については、その都度、甲乙協議の上、決めるものとする。

(労災補償及び損害賠償)

第7条 応援業務において乙の社員が負傷し、疾病にかかり、または死亡した場合は、乙の労災保険により保障するものとする。

2 応援業務により、第三者に損害を与えた場合は、甲乙協議の上、対処するものとする。

(訓練)

第8条 甲及び乙は災害等発生時における応援業務を速やかに行えるよう必要に応じて訓練を実施するものとする。

(定めのない事項等の決定)

第9条 この協定に定めのない事項、または疑義を生じた事項についてはその都度、甲乙協議の上、定めるものとする。

(有効期間)

第10条 この協定は、協定締結日から効力を有するものとし、甲又は乙が文書をもって協定の終了を通知しない限り、その効力を有するものとする。

この協定を証するため、本書2通を作成し、甲乙署名押印の上、各自1通を保有する。

平成28年6月3日

甲 桐生市長

乙 株式会社両毛ビジネスサポート
代表取締役

(5) 公益社団法人日本水道協会関東地方支部災害時相互応援に関する協定

(趣旨)

第1条 この協定は、地震、異常湧水等の災害で被災した都市が速やかに給水能力を回復できるように、公益社団法人日本水道協会関東地方支部（以下「関東地方支部」という。）に属する都県支部（以下「都県支部」という。）間における相互応援活動及び公益社団法人日本水道協会（以下「協会本部」という。）の他の地方支部と関東地方支部との間における相互応援活動に係る都県支部の体制に関し必要な事項を定める。

(要請の種類)

第2条 関東地方支部内において災害が発生した場合、当該災害で被災した事業体が属する都県支部の支部長は、次の要請をすることができる。

- (1) 他の都県支部長に対する応援要請
- (2) 協会本部の他の地方支部長（以下「他の地方支部長」という。）に対する応援要請

(要請方法)

第3条 前条の要請は、公益社団法人日本水道協会関東地方支部長（以下「関東地方支部長」という。）に対して行うものとする。

2 前項の要請は、次の事項をできる限り明らかにし、口頭、電話、電信又は無線等迅速かつ適切に伝達できる方法で行うものとし、後日速やかに文書を関東地方支部長に提出する。

- (1) 災害の状況
- (2) 必要とする応援内容
- (3) 必要とする資機材、物資等の品目及び数量
- (4) 必要とする給水車台数または応急復旧班数
- (5) 応援の場所及び応援場所への経路
- (6) 応援の期間
- (7) 前各号に掲げるもののほか必要な事項

3 第1項の要請を受けた関東地方支部長は、関東地方支部内の他の都県支部長（以下「応援都県支部長」という。）に対して応援を要請する。この場合において、前項の規定は、関東地方支部長の要請についてこれを準用する。

4 関東地方支部長は、第1項の要請を受けた際、被災状況又は地理的条件等から必要と認めるときは、協会本部を通じて、他の地方支部長へ応援を要請するものとする。

5 関東地方支部長は、被災状況等から必要があると認めるときは、第1項の要請を待たずに、応援都県支部長に対し応援活動を即座に行える体制を整えるよう要請することができる。

(代理)

第4条 関東地方支部長である事業体が被災し、適切な連絡調整が行えない場合は、別表1に掲げる順位により、各都県支部長がこの協定における関東地方支部長の事務を代理するものとする。

2 都県支部長は、都県支部長である事業体が被災した場合に、この協定に定める都県支部長の事務を代理させる事業体をあらかじめ決めておくものとする。

(応援都県支部長の責務)

第5条 応援都県支部長は、関東地方支部長から第3条に定める応援の要請を受けたときは、応援を要請した都県支部長（以下「被災都県支部長」という。）に全面的に協力するものとする。

(応援活動)

第6条 応援活動は、概ね次のとおりとする。

- (1) 応急給水活動
- (2) 応急復旧活動
- (3) 応急復旧資機材の提供
- (4) 工事業者の斡旋
- (5) 前各号に掲げるもののほか、特に要請があった事項

(応援職員の受入)

第7条 応援活動を迅速かつ適切に遂行できるようにするため、被災都県支部長は、応援活動のために派遣する職員（以下「応援職員」という。）の宿泊施設及び応援車両の集合場所等を指定する。

ただし、宿泊施設の指定が困難な場合においては、応援活動に従事する水道事業体（以下「応援水道事業体」という。）及び応援水道事業体現地対策本部（以下「現地対策本部」という。）に対し、必要な情報を提供するよう努めるものとする。

(幹事応援水道事業体)

第8条 関東地方支部長は、関東地方支部内で大規模広域災害が発生した場合等に、現地対策本部と応援水道事業体との連絡調整を効率的に行うため、幹事応援水道事業体を定めることができる。

(中継水道事業体)

第9条 関東地方支部長は、関東地方支部内で大規模広域災害等が発生し、関東地方支部内の被災都県支部以外の都県支部、又は他の地方支部からの応援が必要となった場合は、遠方からの応援水道事業体の移動補助を目的とした活動を行う中継水道事業体を、関係する都県支部長と協議の上、定めることができる。

(支援拠点水道事業体)

第10条 関東地方支部長は、関東地方支部内で大規模広域災害等が発生し、応援の長期化が見込まれる場合は、効率的な応援体制の構築を実現することを目的とした活動を行う支援拠点水道事業体を、関係する都県支部長と協議の上、定めることができる。

(費用負担)

第11条 この協定に基づく応援に要する費用の負担については、法令その他別段の定めがあるものを除き、応援を受ける水道事業体（以下「被災水道事業体」という。）が負担することを原則として、詳細を別途定めるものとする。

2 被災水道事業体が負担すべき費用であっても、被災水道事業体が当該費用を支弁するいとまがない場合は、応援水道事業体が一時繰替支弁するものとする。

(他の地方支部への応援)

第12条 関東地方支部長は、協会本部から他の地方支部の正会員に対する応援活動の協力要請を受けたときは、その受諾について、各都県支部長と協議するものとする。ただし、緊急を要する場合は、この限りではない。

2 関東地方支部長が、前項の応援活動の協力要請を受諾したときは、関東地方支部内の事業体においては、この協定による応援活動の例により協力するものとする。

(協会本部正会員以外の水道事業体等への応援)

第13条 関東地方支部内の各都県支部長、各県等の行政機関又は他の地方支部長から、協会本部正会員以外の水道事業体又は簡易水道事業体等に対する応援活動の協力要請があった場合は、関東地方支部長と関係する都県支部長が協議の上、この協定に準じて当該応援活動の協力要請に対応するものとする。

(連絡担当部課)

第14条 関東地方支部長及び各都県支部長は、この協定の実施に必要な情報の相互交換を担当する連絡担当部課、連絡担当責任者及び連絡担当責任者補助者を定め、災害が発生したとき又は災害発生のおそれがあるときは、速やかに必要な情報を相互に交換するものとする。

(平時からの情報交換及び訓練)

第15条 相互応援の円滑な実施に必要な事前情報の充実を図るため、関東地方支部長及び各都県支部長は、前条の連絡担当責任者及び連絡担当責任者補助者からなる関東地方支部防災連絡協議会を設け、毎年定期的に必要な情報の交換を行うものとする。

2 相互応援の円滑な実施を図るため、関東地方支部内で合同防災訓練を定期的に行うものとする。

(その他)

第16条 この協定に定めるもののほかこの協定の実施について必要な事項については、関東地方支部長及び各都県支部長が協議してこれを定める。

附 則

1 この協定は、平成10年4月30日から適用する。

2 この協定の締結の証として、本書9通を作成し、関東地方支部長及び各都県支部長記名押印の上、各自その1通を保有する。

附 則

1 この協定は、平成23年12月7日から適用する。

2 この協定の締結の証として、本書9通を作成し、関東地方支部長及び各都県支部長記名押印の上、各自その1通を保有する。

附 則

1 この協定は、平成28年8月8日から適用する。

2 この協定の締結の証として、本書9通を作成し、関東地方支部長及び各都県支部長記名押印の上、各自その1通を保有する。

平成28年8月8日

公益社団法人日本水道協会関東地方支部長
横浜市 林 文子

公益社団法人日本水道協会東京都支部長
東京都公営企業管理者 醍醐 勇司

公益社団法人日本水道協会神奈川県支部長
川崎市 福田 紀彦

公益社団法人日本水道協会千葉県支部長
千葉県知事 森田 健作

公益社団法人日本水道協会埼玉県支部長
さいたま市 清水 勇人

公益社団法人日本水道協会群馬県支部長
前橋市 山本 龍

公益社団法人日本水道協会栃木県支部長
宇都宮市 佐藤 栄一

公益社団法人日本水道協会茨城県支部長
日立市 小川 春樹

公益社団法人日本水道協会山梨県支部長
甲府市 樋口 雄一

別表 1

順位	支部長名
第 1 順位	東京都支部長
第 2 順位	神奈川県支部長
第 3 順位	千葉県支部長
第 4 順位	埼玉県支部長
第 5 順位	群馬県支部長
第 6 順位	栃木県支部長
第 7 順位	茨城県支部長
第 8 順位	山梨県支部長

(6) 社団法人 日本水道協会群馬県支部災害相互応援要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、日本水道協会群馬県支部規則第3条の2の規定に基づき、地震、異常湧水その他の災害時において、日本水道協会群馬県支部（以下「支部」という。）に所属する正会員（以下「会員」という。）が相互に行う応援活動について、必要な事項を定めるものとする。

(応援内容)

第2条 会員が相互に行う応援活動は、次のとおりとする。

- (1) 応急給水活動
- (2) 応急復旧活動
- (3) 応急復旧に必要な資機材の提供
- (4) 工事業者のあっせん
- (5) 前各号に掲げるもののほか、特に要請のあったもの

2 応急給水活動及び応急復旧活動を行う期間は、関係する会員が協議して定めるものとする。

(応援要請)

第3条 被災した会員が、他の会員の応援を求めようとするときは、支部長をとおして要請するものとする。

2 要請を受けた会員は、極力これに応じ応援するよう努めるものとする。

(要請方法)

第4条 被災した会員が、応援を要請しようとするときは、次に掲げる事項を明らかにして、電話等迅速かつ正確に伝達できる通信手段により要請し、後日速やかに文書を提出するものとする。

- (1) 災害の状況
- (2) 必要とする資機材、物資等の品目及び数量
- (3) 必要とする職種別人員
- (4) 応援期間
- (5) 応援場所及び応援場所への経路
- (6) その他必要な事項

(応援体制)

第5条 応援を行う会員が職員を派遣するときは、災害の状況に応じ当該職員に食料、衣類その他必要なものを携帯させるものとする。

2 応援を行う会員の職員は、会員名を表示した腕章等を着用し、その身分を明らかにするものとする。

(被災体制)

第6条 被災した会員は、災害の状況に応じ、応援を行う会員に対する宿舍のあっせんその他必要な便宜を図るものとする。

(費用負担)

第7条 応援を行う会員の職員派遣に要する費用は、応援を行う会員が負担し、工事業者の派遣その他の費用については、原則的に被災した会員の負担とする。

2 前項の規定により難しい場合は、関係する会員が協議して定めるものとする。

(災害補償等)

第8条 応援を行う会員の職員が応援業務により負傷し、疾病にかかり、又は死亡した場合における災害補償は、応援を行う会員の負担とする。

2 応援を行う会員の職員が業務上第三者に損害を加えた場合において、その損害が応援業務中に生じたものについては被災した会員が、応援を行う会員が応援場所への往復途中に生じたものについては応援を行う会員がその賠償の責任を負う。

3 前2項の規定により難しい場合は、関係する会員が協議して定めるものとする。

(他の支部との相互応援)

第9条 支部長は、災害時における相互応援について、支部内での対応が困難なときは、支部以外の日本水道協会の会員（以下「他支部の会員」という。）に応援を求めるものとする。

2 被災した他支部の会員から応援要請があった場合は、会員は極力これに応じ応援するよう努めるものとする。

(応援物資等の調査等)

第10条 会員は、災害時における相互応援の円滑な実施のため、毎年、応援に従事できる職員数、会員の保有する資機材等の備蓄状況等を調査し、災害時の連絡先(様式第1号)及び応援に従事できる職員数と保有する資機材等の備蓄状況(様式第2号)により支部長に報告するものとする。

2 支部長は、前項の規定による報告を取りまとめ、その結果を会員に送付するものとする。
(協議)

第11条 この要綱の実施に関し必要な事項又はこの要綱に定めのない事項については、その都度協議して定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成10年4月24日から実施する。

様式第1号(第10条関係)

災 害 時 の 連 絡 先

会 員 名 (連絡担当部課名)			
連 絡 担 当 者		連絡担当責任者	連絡担当副責任者
連 絡	電話(勤務時間内)		
	〃 (〃 外)		
	FAX(勤務時間内)		
	〃 (〃 外)		

様式第2号（第10条関係）

応援に従事できる職員数と保有する資機材等の備蓄状況

会員名 _____

1 応援に従事できる職員数 年 月 日現在

	職 種 別 職 員 数							備 考
	事務	技 術 職 員					配 管	
会 員 名	職員	土木	電気	化学	機械	建築	技能員	

2 保有する資機材等の備蓄状況 年 月 日現在

項 目	種 別	規 格	数 量	備 考
車 両	給水タンク車(吸排装置付)	t		
	給水タンク車(吸排装置なし)	t		
	その他	t		
給水容器	給水タンク	ℓ		
	給水タンク	ℓ		
	ポリタンク	ℓ		
	ポリタンク	ℓ		
	ポリ袋	ℓ		
	ポリ袋	ℓ		
機 材	簡易浄水器(可搬式)	m ³ /h		
	簡易浄水器(可搬式)	m ³ /h		
	発電機			
	投光機			
	鉄管切断機			
	電動ネジ切機			
	その他			
管 類	直管	mm		
	直管	mm		
そ の 他				

(7) 上水道相互連絡管による相互応援配水に関する協定(伊勢崎市)

桐生市水道事業(以下「甲」という。)と伊勢崎市水道事業(以下「乙」という。)は、上水道相互連絡管設置工事に関する覚書(平成28年11月14日付け)に基づき桐生市新里町野392番9地先と伊勢崎市香林町二丁目712番3地先の行政区域界上に設置した上水道相互連絡管により相互応援配水を行うため次のとおり協定を締結する。

(総則)

第1条 甲及び乙は、それぞれの配水区域への配水が不可能な場合、その住民の用に供する目的で相互応援配水(以下「応援配水」という。)を行うものとする。

(維持管理)

第2条 連絡管の維持管理は甲と乙それぞれが行い、修繕等に要した費用はそれぞれが負担するものとする。

(応援配水の実施範囲)

第3条 応援配水は、付近住民への飲料水用及び防火用のために行うものとする。

(応援配水の開始)

第4条 甲及び乙は、応援配水の必要が生じた場合は、速やかに連絡を取り合うとともに、事前に応援配水依頼書(様式。以下「依頼書」という。)を提出するものとする。ただし、依頼書を提出するいとまがないときは、口頭で依頼し、後日速やかに依頼書を提出するものとする。

2 応援配水の開始は、甲乙双方が立会いの上実施するものとする。

(応援配水の期間および配水量)

第5条 応援配水の期間および配水量は、甲乙協議の上決定するものとする。

(使用水量の計算及び通知)

第6条 応援配水を受ける場合の甲又は乙の使用水量は、甲乙協議の上決定するものとする。

2 甲又は乙は、前項の規定により決定した使用水量を1月ごとに集計し通知するものとする。

(応援配水単価等)

第7条 甲又は乙から応援配水する水量の単価は、1立方メートル当たりのそれぞれの前年度供給単価(給水収益を年間総有収水量で除したもの)とし、代価は使用水量に当該単価を乗じて得た額に消費税及び地方消費税相当額を加算した額とする。

2 消費税及び地方消費税相当額は、前項に定める使用水量に配水単価を乗じて得た額に、これに適用される消費税法(昭和63年法律第108号)に規定する消費税の税率及び地方税法(昭和25年法律第226号)に規定する地方消費税の税率を乗じて得た額とする。この場合において、1円未満の端数があるときは、その端数金額は切り捨てるものとする。

(代価の支払)

第8条 甲又は乙は前条の規定により算出した代価をそれぞれの発行する納入通知書により支払うものとする。

(応援配水の制限)

第9条 甲及び乙は、応援配水を行うことにより通常の配水に支障が生じ緊急を要する場合は、一時的に、応援配水の配水量、配水時間等について制限を加えることができる。この場合において当該制限の内容を速やかに甲又は乙に連絡するものとする。

(水質の確認)

第10条 甲及び乙は、応援配水に際し、連絡管内にある滞留水の排水を行うとともに、残留塩素の有無を判定し、必要な塩素の濃度を確認の上通水するものとする。

(協定の有効期間)

第11条 この協定の有効期間は、この協定締結の日から平成30年3月31日までとする。ただし、この有効期間満了の1月前までに甲又は乙のいずれか一方の文書による異議の申出がない場合は1年間協定を更新し、以後もこれに準ずるものとする。

(定めのない事項等の決定)

第12条 この協定に定めのない事項又はこの協定に関し疑義が生じたときは、その都度甲乙協議の上決定するものとする。

この協定の締結を証するため本書2通を作成し、甲乙記名押印の上各自その1通を保有する。

平成29年11月9日

桐生市織姫町1番1号
甲 桐生市水道事業
桐生市長 亀山 豊文

伊勢崎市今泉町二丁目410番地
乙 伊勢崎市水道事業
伊勢崎市長 五十嵐 清隆

様式(第4条関係)

応援配水依頼書

年 月 日

様

平成 年 月 日付で締結した上水道相互連絡管による相互応援配水に関する協定書に基づき、次のとおり応援配水を受けたいので依頼します。

記

- 1 配水開始時間 年 月 日 午前・午後 時から
- 2 配水予定期間 上記配水開始日時から 年 月 日 まで
- 3 配水予定量 一日当り m^3
期間合計数量 m^3
- 4 配水発生要因
- 5 連絡担当者

(8) 上水道相互連絡管設置に関する協定(前橋市)

上水道相互連絡管設置に関する協定書

前橋市長（以下「甲」という。）と桐生市長（以下「乙」という。）は、前橋市水道事業配水管と桐生市水道事業配水管を連絡し、相互応援配水を行うため次のとおり協定を締結する。

（総則）

第1条 甲及び乙は、災害や水質事故等発生時に、それぞれの配水区域への配水が不可能な場合、その住民の用に供する目的で相互応援配水（以下「応援配水」という。）を行うため、配水連絡管（以下「連絡管」という。）を設置するものとする。

（設置地点及び位置）

第2条 連絡管の設置地点は、甲と乙の行政区域境界上を原則とし、設置位置は甲乙協議の上決定するものとする。

（連絡管工事）

第3条 連絡管の設置工事の施工範囲は、甲乙協議の上決定するものとし、工事費についてはそれぞれが負担するものとする。

（維持管理）

第4条 連絡管の維持管理は甲と乙がそれぞれ施工した範囲に対して行い、修繕等に要した費用についてもそれぞれが負担するものとする。

2 甲及び乙は、連絡管の点検確認のため、年1回程度甲乙双方の職員を立ち合わせるものとする。なお、立会いの日時については、甲乙協議の上決定するものとする。

（応援配水の実施範囲）

第5条 応援配水は、付近住民への飲料水用及び防火用のために行うものとする。

（応援配水の開始）

第6条 甲及び乙は、応援配水の必要が生じた場合は、速やかに連絡を取り合うとともに、事前に応援配水依頼書（様式。以下「依頼書」という。）を提出するものとする。ただし、依頼書を提出するいとまがないときは口頭で依頼し、後日速やかに依頼書を提出するものとする。

2 応援配水の開始及び終了時は、原則甲乙双方が立会うものとする。

（応援配水の期間及び配水量）

第7条 応援配水の期間及び配水量は、甲乙協議の上決定するものとする。

（使用水量の計算及び通知）

第8条 応援配水を受ける場合の甲又は乙の使用水量は、連絡管内に流量計を設置して計量するものとする。ただし、次の理由で使用水量の把握ができない場合は、甲乙協議の上使用水量を決定する。

- (1) 緊急に応援配水の必要性が生じ、流量計の設置が困難な場合
- (2) 応援配水が短期間となるため、流量計を設置しない場合
- (3) 流量計等の故障により計量不能となった場合
- (4) その他、甲乙双方が認めた場合

2 配水側の甲又は乙は、前項の規定により計量し、又は決定した使用水量を一月ごとに集計し、受水側の甲又は乙に通知するものとする。

（応援配水単価等）

第9条 甲又は乙から応援配水する水量の単価は、1立方メートル当たりのそれぞれの前年度供給単価（給水収益を年間総有収水量で除したもの）とし、代価は使用水量に当該単価を乗じて得た額に消費税及び地方消費税相当額を加算した額とする。

2 消費税及び地方消費税相当額は、前項に定める使用水量に配水単価を乗じて得た額に、これに適用される消費税法（昭和63年法律第108号）に規定する消費税の税率及び地方税法（昭和25年法律第226号）に規定する地方消費税の税率を乗じて得た額とする。この場合において、1円未満の端数があるときは、その端数金額は切り捨てるものとする。

（代価の支払）

第10条 甲又は乙は、前条の規定により算出した代価を配水側の発行する納入通知書により支払うものとする。

（応援配水の制限）

第11条 甲及び乙は、応援配水を行うことにより通常の配水に支障が生じ緊急を要する場合は、一時的に、応援配水の配水量、配水時間等について制限を加えることができる。この場合において当該制限の内容を速やかに甲又は乙に連絡するものとする。

（水質の確認）

第12条 甲及び乙は、応援配水に際し、連絡管内にある滞留水の排水を行うとともに、残留塩素の有無を判定し、必要な塩素の濃度を確認の上通水するものとする。

（協定の有効期間）

第13条 この協定の有効期間は、この協定締結の日から令和4年3月31日までとする。ただし、この有効期間満了の一月前までに甲又は乙のいずれか一方の文書による異議の申出がない場合は、1年間協定を更新し、以後もこれに準ずるものとする。

（定めのない事項等の決定）

第14条 この協定に定めのない事項又はこの協定に関し疑義が生じたときは、その都度甲乙協議の上決定するものとする。

この協定の締結を証するため本書2通を作成し、甲乙記名押印の上各自その1通を保有する。

令和3年2月18日

前橋市大手町二丁目12番1号

甲 前橋市

前橋市長 _____

桐生市織姫町1番1号

乙 桐生市

桐生市長 _____

応援配水依頼書

年 月 日

様

令和3年2月18日付けで締結した上水道相互連絡管設置に関する協定書に基づき、次のとおり応援配水を受けたいので依頼します。

記

- 1 配水開始日時 年 月 日 午前・午後 時から
- 2 配水予定期間 配水開始日時から 年 月 日まで
- 3 配水予定量 一日当たり m³
 期間合計水量 m³
- 4 配水発生要因

- 5 連絡担当者

VIII. その他資料

1. 桐生市水道料金審議会条例

(設置)

第1条 市長の諮問に応じ、水道料金の額について審議するため、桐生市水道料金審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(委員)

第2条 審議会は、14人をもって組織する。

2 委員は、公共的団体の代表者及び水道使用者のうちから必要の都度市長が委嘱する。

3 委員は、当該諮問にかかる審議が終了したときは、委嘱を解かれるものとする。

(会長及び副会長)

第3条 審議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(委任)

第5条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が定める。

2. 両毛地域水道事業管理者協議会開催要領

(名称)

第1条 この会は、両毛地域水道事業管理者協議会(以下「協議会」という。)と称する。

(目的)

第2条 協議会は、水道事業の経営について、情報の交換、協議等を行い、水道事業の健全な運営に資することを目的とする。

(構成)

第3条 協議会の構成員は、桐生市、足利市、佐野市水道事業管理者(水道事業管理者を置かない構成団体にあつては、水道事業主管局部長)及び群馬東部水道企業団企業長(以下「団体」という。)とする。ただし、水道事業管理者が出席できないときは、代理の者が出席するものとする。

(招集)

第4条 協議会は、代表世話人が招集する。

(代表世話人)

第5条 代表世話人は、各団体の持ち回りとし、足利市、桐生市、佐野市、群馬東部水道企業団の順とする。

2 代表世話人は、協議会の座長となる。

3 代表世話人の任期は、2年とする。

(会場)

第6条 協議会の会場は、各団体の持ち回りとする。

(事務局)

第7条 事務局は、代表世話人の団体が担当する。

(費用)

第8条 費用分担については、別途協議決定する。

2 会議費用については、会場当番団体の負担とする。

(参加費)

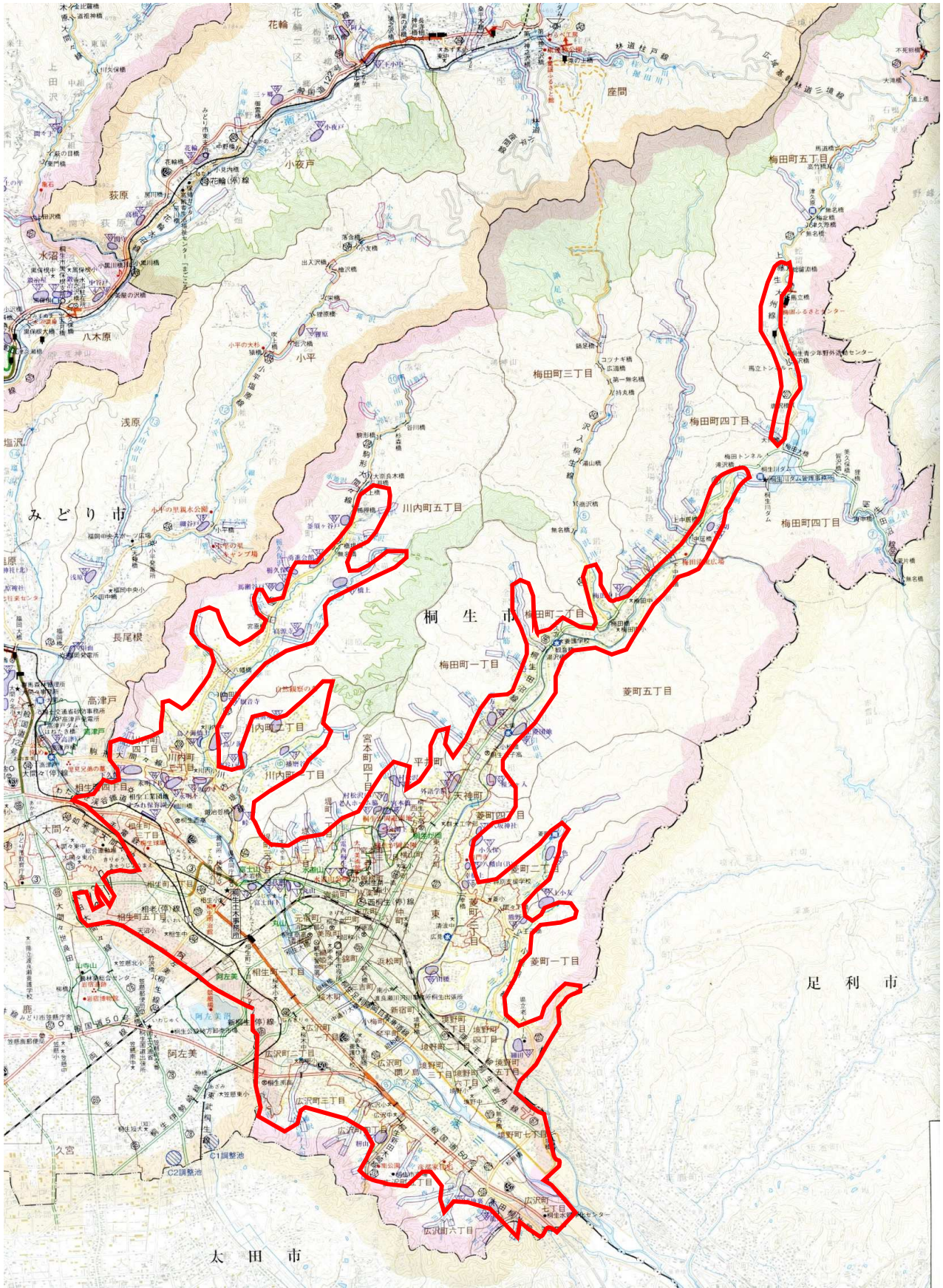
第9条 出張旅費等の経費については、出席者の負担とする。

(会議)

第10条 協議会は、5月及び8月の年2回開催する。

(実務担当者研究会)

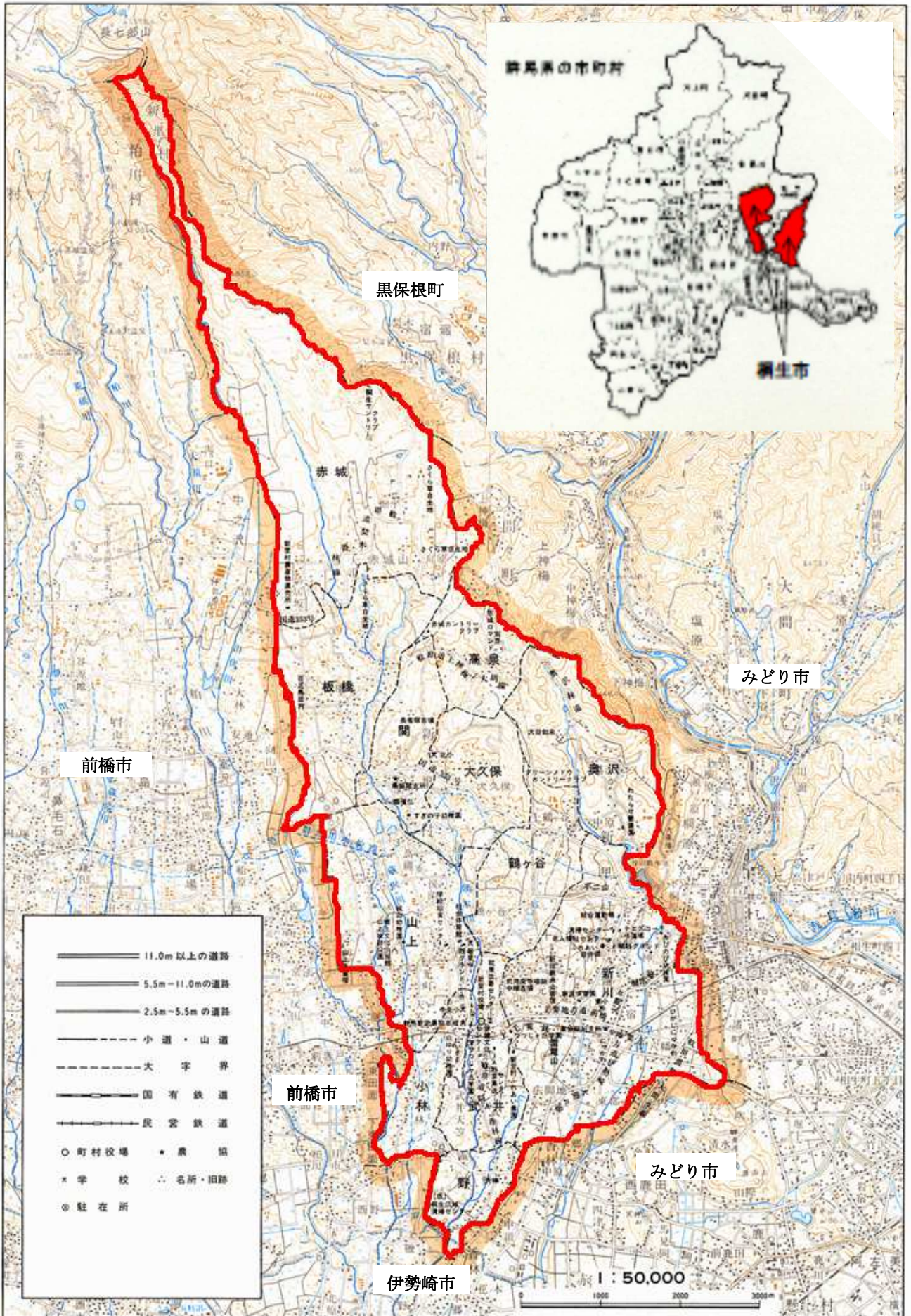
第11条 協議会の目的達成の一環として、研究会を開催するものとし、細目については別に定める。



— 旧桐生地区給水区域

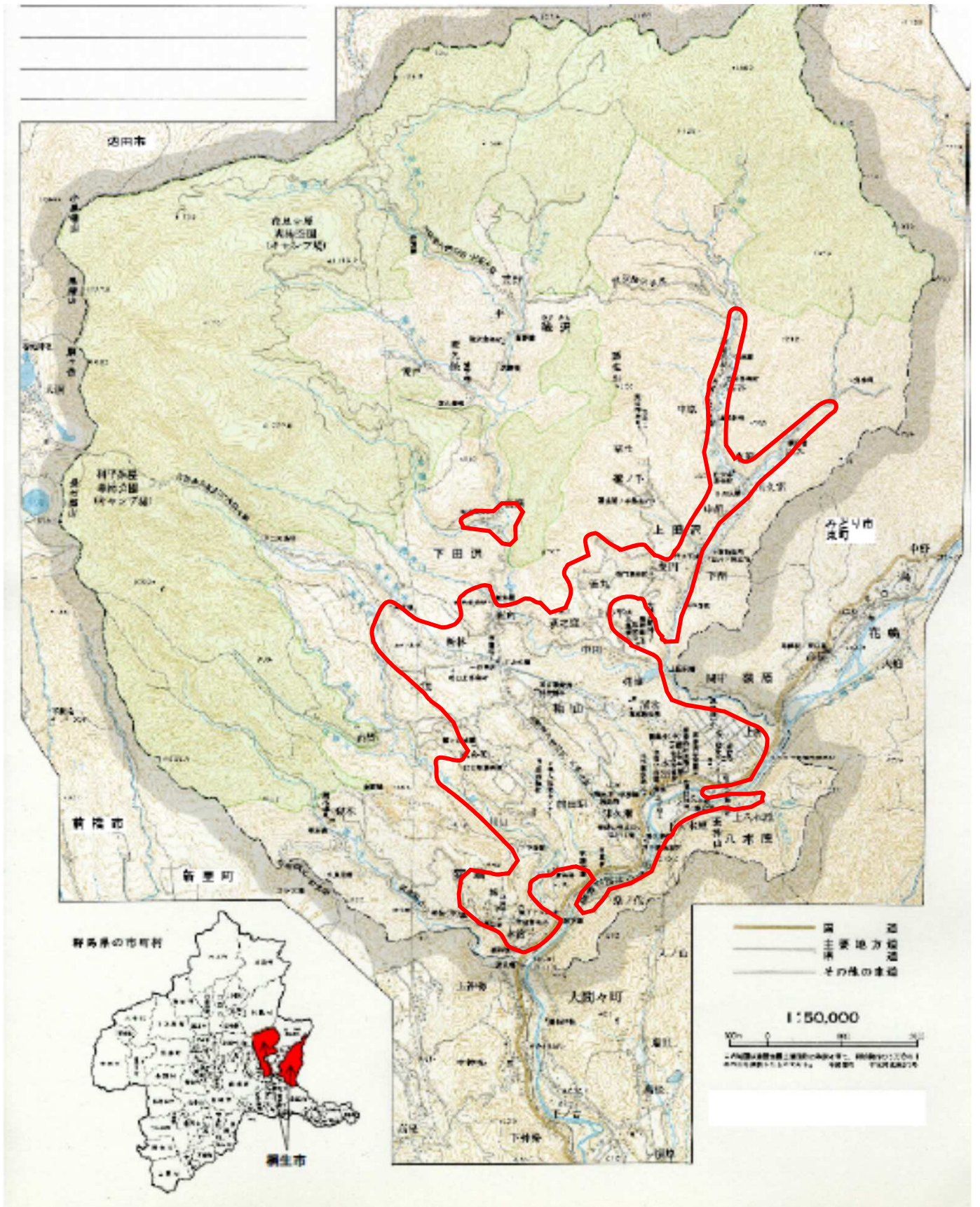
桐生市給水区域図

旧桐生地区



— 新里地区給水区域

新里地区



— 黒保根地区給水区域

黒保根地区

令和2年度
桐生市水道事業年報
令和3年10月発行

発行 桐生市水道局
〒376-8501
桐生市織姫町1番1号
TEL 0277-46-1111
編集 桐生市水道局総務課